

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
平成24年度 業務実績評価書
参考資料 小項目評価

平成25年 8 月

神奈川県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実(小項目1~18)

- ア 足柄上病院(小項目1~3) 1
- イ こども医療センター(小項目4~6) 5
- ウ 精神医療センター 芹香病院(小項目7~9) 8
 - 精神医療センター せりがや病院(小項目10) 12
- エ がんセンター(小項目11~14) 14
- オ 循環器呼吸器病センター(小項目15~17) 19
- カ 医療機能を評価する指標(小項目18 18-1~18-26) 22

(2) 医療機器・施設整備の推進(小項目19~22)

- ア 医療機器整備の推進(小項目19) 28
- イ 施設整備の推進
 - (ア) がんセンター総合整備の推進(小項目20) 29
 - (イ) 精神医療センター総合整備の推進(小項目21) 31
 - (ウ) その他の施設整備の推進(小項目22) 32

(3) 地域医療連携の強化(小項目23) 33

(4) 臨床研究の推進(小項目24~27)

- ア 臨床研究(小項目24~25) 36
- イ 治験(小項目26~27) 39

2 安全で安心な医療の提供(小項目28~32)

- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備(小項目28) 42
- (2) 医療安全対策の推進(小項目29) 44
- (3) 感染症対策の強化(小項目30) 47
- (4) 災害対策の推進(小項目31) 49
- (5) 情報セキュリティの強化(小項目32) 51

3 患者の視点に立った病院運営(小項目33~40)

- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供(小項目33~36) 52
- (2) 県民への病院・医療情報提供の充実(小項目37) 59
- (3) 患者の利便性の向上(小項目38・39) 61
- (4) ボランティア・NPOとの協働(小項目40) 63

4 医療人材の確保と育成(小項目41~44)

- (1) 医師の確保と育成(小項目41) 65
- (2) 看護師の確保と育成(小項目42) 66
- (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実(小項目43) 68
- (4) 勤務環境の改善(小項目44) 69

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立(小項目45) 70

2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

(1) 効率的・効果的な業務運営(小項目46~50)

- ア 人事・予算の弾力的運用(小項目46) 72
- イ 事務職員の専門性の向上(小項目47) 74
- ウ 職員の経営参画意識の向上(小項目48) 75
- エ ITの活用による効率的な医療提供の推進(小項目49) 76
- オ 効率的な事務執行の推進(小項目50) 77

(2) 経営改善の取組(小項目51~54)

- ア 収益の確保(小項目51~53) 78
- イ 費用の削減(小項目54) 81

第7 その他業務運営に関する重要事項(小項目56)

- 人事に関する事項 (1)適切な職員配置 (2)的確な人事管理 86

第3 財務内容の改善に関する事項(小項目55) 84

小項目 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(7) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。 	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 神奈川県立足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。 地域に潜在しているがん患者を早期に発見して治療できるよう、内視鏡による検査体制を強化し、内視鏡的治療件数の増加を図る。 高齢化の進んでいる地域のニーズに応えるため、週1日の診療日を2日に増やすなどリハビリテーション科の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門外来を設置し、専門的な診療、治療に取り組むとともに、救急体制を強化し、救急患者の受け入れを行うなど地域の医療ニーズに対応した。 平成24年5月に消化器内視鏡外来を設置し、平成25年1月には内視鏡室の整備拡充に取り組み、増加する内視鏡検査及び治療件数に対応した。 平成24年度の内視鏡検査は3,608件で平成23年度3,234件と比べ374件増加した。内視鏡治療件数は平成24年度748件で平成23年度605件と比べ143件増加した。 平成24年4月から医師(非常勤)1名増員により外来診療日を週1日から2日に増やすとともに、理学療法士1名を増員し、診療体制及びリハビリ体制の充実を図った。 平成24年度の外来患者数は延870人で平成23年度760人と比べ110人増加するとともに、リハビリ実施人数も平成24年度は延18,136人で23年度16,680人と比べ1,456人増加した。また、地域ニーズを踏まえ、平成24年8月に装具外来を新設した。 	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	A		
			<p>課題</p> <p>地域の中核的医療機関として地域のニーズに応えられるよう救急医療や産科医療など医療機能の充実を図っていく。</p>			

小項目 1 - 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (7) 足柄上病院</p> <p>・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。</p>	<p>・高齢者病棟（スマイル）を活用した高齢者への専門的・個別的医療や看護の提供等により「高齢者総合医療」を推進する。</p> <p>・スマイル病棟の入院患者に対しては、入院時及び退院時に実施するバーセルインデックスによる生活機能評価を活用し、より良い在宅生活が送れるよう生活機能の向上を目指す。</p>	<p>・スマイル病棟は医師・看護師・薬剤師、理学療法士、管理栄養士、社会福祉士などと家族が協力し、疾病によって出現する個々の患者の生活機能障害を、チームとして包括的に評価し、個々にとって最適な急性期医療を提供することを目的としている。</p> <p>[スマイル病棟による高齢者総合医療の実践]</p> <p>スマイル病棟に受け入れた高齢で肺炎・脳梗塞等の患者について、バーセルインデックスにより入院中の生活機能の変化を比較し、退院後の機能維持向上に活用している。</p> <p>また、入院時から地域医療連携室が関わり、地域医療機関や家族と連絡をとり、共同指導や家族指導等を通じて退院支援を行っている。</p> <p>スマイル病棟に限らず、病院全体で入院後7日以内に多職種によるカンファレンスの実施を行うことなどにより、在院日数の短縮に繋がっている。</p> <p>誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアや嚥下訓練等を行い、必要に応じて嚥下内視鏡検査を行い、嚥下状況を確認し食事を選択している。</p>	<p>実績に対する評価</p>	A	A	
			<p>・スマイル病棟の実患者数は、平成24年度の目標値を概ね達成している。</p> <p>・平均在院日数は、退院設定に向けた取組により平成24年度目標値を達成しており、平成23年度実績との比較においても5.2日短縮した。</p>			
						<p>課題</p>

[スマイル病棟患者数の実績と目標値]

区分	平成22年度実績	平成24年度目標値
実患者数	117人	120人
平均在院日数	21.6日	20.0日

Smile(微笑)
 Multidisciplinary(専門的多職種)
 Integrate(統合)
 Listen(傾聴)
 Empathy(共感)
 の頭文字をとったもの

[スマイル病棟患者数の実績]

区分	平成23年度	平成24年度
実患者数	118人	115人
平均在院日数	18.8日	13.6日
延べ患者数	1,995人	1,248人

[高齢者総合医療を目指すその他の取組み]

・地域における生活習慣病予防対策として、地域住民の要望に応え、医学講座等を開催するなど住民の予防意識向上に努めている。

医学講座等の開催回数 平成24年度 19回
 平成23年度 13回

小項目2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>・ICUの設置に向けた取組を行うとともに、消防本部との連携強化等により、救急医療を充実する。</p> <p>(参考) 年間救急受入数実績 (平成20年度) 9,972件</p>	<p>・消防本部との連携を強化するなど救急体制を充実し、救急患者の受入を拡大する。</p> <p>・ICU設置に向けた第1段階としてHCUの運用を開始するとともに、ICU施設基準取得に必要な医師及び看護師の確保に努める。</p> <p>[年間救急受入の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,872件</td> <td>12,000件</td> </tr> </tbody> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	11,872件	12,000件	<p>・足柄消防組合の要請に基づき、救急隊救急救命士の再教育実習を受け入れたほか、連絡調整会議を開催し、救急業務に係る意見交換や事例研究を行うなど連携を強化し、救急体制の充実を図った。</p> <p>・HCU設置に向けて体制を整備し、平成24年2月に運用を開始した。平成24年度患者数は延885人であった。</p> <p>[年間救急受入の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急依頼件数</td> <td>12,439件</td> <td>12,281件</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>11,808件</td> <td>11,744件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,360人</td> <td>2,619人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※救急依頼件数と救急受入件数の差分は受入できなかった件数 平成24年度537件(平成23年度631件)</p>	区分	平成23年度	平成24年度	救急依頼件数	12,439件	12,281件	救急受入件数	11,808件	11,744件	入院患者数	2,360人	2,619人	<p>実績に対する評価</p> <p>・年間救急受入件数は概ね目標値を達成している。また、救急患者のうち入院を必要とする患者数が増加するなど救急医療機能が向上している。</p> <p>・HCU設置により重症患者の集中的治療の管理が可能となった。</p>	A	A	
		平成22年度実績	平成24年度目標値																			
11,872件	12,000件																					
区分	平成23年度	平成24年度																				
救急依頼件数	12,439件	12,281件																				
救急受入件数	11,808件	11,744件																				
入院患者数	2,360人	2,619人																				
<p>課題</p> <p>重症患者に対してさらに十分な管理を図る必要があるため、ICUの施設基準取得に向けて取り組む必要がある。</p>																						

小項目3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																											
<p>・地域で安心して出産ができるよう、産科医療体制を充実するとともに、助産師による院内助産の取組を進める。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度 実績</th> <th>平成26年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>241件</td> <td>370件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>31件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度 実績	平成26年度 目標値	分べん件数	241件	370件	うち助産師分べん件数	31件	80件	<p>・産婦人科医師の確保を図る一方、院内助産の体制を強化し、助産師外来、母親教室、母乳育児支援等、助産師を活用した取組により、地域で安心して出産ができるための産科医療体制を充実する。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度 実績</th> <th>平成24年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>253件</td> <td>180件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>73件</td> <td>180件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度 実績	平成24年度 目標値	分べん件数	253件	180件	うち助産師分べん件数	73件	180件	<p>産婦人科医師の必要数の確保に向けて取り組んできた中で、引き続き産婦人科医師の負担軽減を図るため、院内助産システムにより助産師主導の分娩を実施した。 また、助産師は週3回助産師外来で妊婦健診や保健指導を行い、さらに週1回母乳育児外来で乳児健診等の業務を行うなど、妊婦・分娩・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけている。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>171件</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>154件</td> <td>155件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	分べん件数	171件	178件	うち助産師分べん件数	154件	155件	<p>実績に対する評価</p> <p>平成24年度の分べん件数は178件で、目標の180件を概ね達成している。</p>	A	B	<p>・産科医師の確保が全国的に難しい中で、分べん件数は現在の体制からすれば評価できるが、平成26年度の目標に対しては48%の達成率であり、このままでは中期計画の達成が困難である。</p> <p>・昨年度実績に比しても微増にとどまり、依然として地域で安心して出産できる体制になっているとは言い難い。緊急の産科医療体制の充実が望まれる。</p> <p>・産科医の増員が難しいのであれば助産師の専門性を活かした一層の活用も検討すべきである。</p>
	区分	平成20年度 実績	平成26年度 目標値																														
分べん件数	241件	370件																															
うち助産師分べん件数	31件	80件																															
区分	平成22年度 実績	平成24年度 目標値																															
分べん件数	253件	180件																															
うち助産師分べん件数	73件	180件																															
区分	平成23年度	平成24年度																															
分べん件数	171件	178件																															
うち助産師分べん件数	154件	155件																															
			<p>課題</p> <p>足柄上地域で唯一の分娩対応医療機関として、産婦人科医師の確保に努め、異常分べんにも対応できるよう産科医療体制を整備していく必要がある。</p>																														

小項目 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			自己点数	評価点数	コメント																															
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(イ) こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管外科手術をはじめとする、手術の実施体制を充実する。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,684件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術</td> <td>376件</td> <td>400件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td>229件</td> <td>160件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>86件</td> <td>105件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度実績	平成24年度目標値	手術件数	3,684件	3,800件	うち心臓血管外科手術	376件	400件	うち新生児手術件数	229件	160件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	86件	105件	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>イ 神奈川県立こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設として、心臓血管外科手術等の実施件数の増加に対応する。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,584件</td> <td>3,568件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術</td> <td>404件</td> <td>332件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td>143件</td> <td>128件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>112件</td> <td>77件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成24年度目標値	手術件数	3,584件	3,568件	うち心臓血管外科手術	404件	332件	うち新生児手術件数	143件	128件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	112件	77件	<p>・前年度の課題であった眼科科長の確保はできたものの、医師の欠員が生じた循環器内科で件数が平成23年度の414件から308件に減少するなどしたため、手術件数全体では、目標値3,800件に対し3,568件と93.9%の達成率に留まった。</p> <p>また、心臓血管外科手術は循環器内科の診療体制が十分に整わなかったことなどで、目標値400件に対し332件と83.0%の達成率に留まった。</p> <p>・新生児手術件数、乳児外科施設基準対象手術件数は、心臓血管外科の手術件数の減少の影響もあり、それぞれ目標値160件に対し128件と80.0%、目標値105件に対し77件と73.3%の達成率に留まった。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>前年度の課題であった眼科科長の確保ができ、手術件数全体ではほぼ前年度並みの件数を維持できたものの、目標値を達成することができなかった。</p> <p>また、新生児手術件数、乳児外科施設基準対象手術件数がいずれも目標値を達成できなかったことは、心臓血管外科の手術件数の減少の影響が大きい。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 術式は医療技術の進歩とともに変わるものであり、手術件数を目標にすること自体が再考を要する。 医師の欠員については確保に努めていただきました。
	区分	平成22年度実績	平成24年度目標値																																	
手術件数	3,684件	3,800件																																		
うち心臓血管外科手術	376件	400件																																		
うち新生児手術件数	229件	160件																																		
うち乳児外科施設基準対象手術件数	86件	105件																																		
区分	平成23年度実績	平成24年度目標値																																		
手術件数	3,584件	3,568件																																		
うち心臓血管外科手術	404件	332件																																		
うち新生児手術件数	143件	128件																																		
うち乳児外科施設基準対象手術件数	112件	77件																																		
<p>課題</p> <p>手術件数が過減傾向にある中県内の医療ニーズに適切に対応するため、医師を確保することで手術の実施体制を充実していく必要がある。</p>																																				

小項目5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・小児医療における総合的な緩和ケアを推進するための体制を整備する。</p>	<p>・心理的要因も含めた緩和ケアの体制を強化するため、スタッフの専従化を図り、緩和ケアチームの体制を強化する。また、小児緩和医療の普及啓発を図るため、地域の医療機関を対象にセミナーを開催する。</p> <p>・疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに手術後も含めた疼痛の緩和を行うアキュートペインサービスを推進する。また、アキュートペインサービスの普及・啓発を図るため、主に院内職員を対象にセミナーを開催する。</p>	<p>・前年度に引き続き、専従の医師を中心に専門・認定看護師、臨床心理士、薬剤師から構成される緩和ケアチームにより小児緩和医療の体制整備を継続した。また、緩和ケアチームでは、定例カンファランスを40回開催し、個々の症例における身体的、精神的苦痛、通学や就労などの問題といった社会的苦痛に対する最適な緩和ケアについて検討・提供を行ったほか、症状緩和に関する電話相談にも応じた。</p> <p>・さらに緩和ケアチームを中心とした緩和ケア検討会議を7回開催し、症例検討、ファシリテッド活用推進、療養環境の向上などを広範な視点から討議した。</p> <p>・地域医療連携登録医療機関、訪問看護ステーション、こども医療センター職員を対象に小児緩和ケアセミナーを2回開催した。</p> <p>・「より安全にそして苦痛なく」侵襲を伴う処置、検査を受けられるように、手術室外にも持ち出せるコンパクトな全身麻酔器を使用し、麻酔科専門医による麻酔処置の提供といったアキュートペインサービスを実施した。また、センター職員を対象にセミナーを1回開催した。 (アキュートペインサービスの実施内容) 侵襲の強い処置に対する全身麻酔提供 12件 PCA(自己調節鎮痛法)ポンプを用いた症状緩和 17件 手術後の疼痛緩和 139件 (手術後の疼痛緩和については、乳幼児に対してはより積極的に実施した。)</p>	実績に対する評価	S	S	<p>・小児医療における総合的な緩和ケアの取組みは高く評価できる。</p> <p>・ファシリテッドの受入れによって、緩和ケアに非常に大きな成果が上がっていることは評価できる。</p>
			課題			
			緩和ケア外来を開設するなど今後も質の高い医療を提供する必要がある。			

小項目6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																										
			自己点数	評価点数	コメント																										
<p>・周産期救急及び小児の三次救急を充実するための体制を整備する。</p> <p>・本県の周産期救急医療システムを効果的に運用するために、周産期救急の基幹病院として、他の医療機関では治療が困難な患者を中心に受入れを行うとともに、小児三次救急とあわせ、地域医療機関との連携・調整の役割を引き続き担う。</p> <p>(参考) 周産期救急・小児三次救急実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	N I C U 受入実患者数	512人	救急受入件数	6,142件	<p>[周産期救急の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績値</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>543人</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児入院件数</td> <td>56件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数</td> <td>23件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数</td> <td>88人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>5,112件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>1,385人</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度実績値	平成24年度目標値	N I C U 受入実患者数	543人	600人	超低出生体重児入院件数	56件	55件	依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数	23件	25件	N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	88人	100人	救急受入件数	5,112件	-	うち入院患者数	1,385人	-	<p>・全国的なN I C U 不足の中、N I C U 病床21床に対し、前年度比0.4人増の1日平均20.8人を受け入れており、常時満床に近い状態にある。また、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者も毎年200人前後受け入れている。</p> <p>こうした中、N I C U の受入実患者数は、平成24年10月から地域医療連携室に退院調整専従の看護師を配置した効果で、目標値の600人に対し653人に達し、達成率は108.8%となった。一方、超低出生体重児入院件数は、目標の55件に対し33件に留まった。</p> <p>・依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数は、目標値と同値の25件、また、N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数は、目標の100件に対し、93件に留まっている。</p> <p>・救急受入件数はより緊急性の高い入院患者の受入が前年度比63人増の1,457人に達しており、三次救急医療機関としての役割を果たしている。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>S</p> <p>課題</p>	<p>S</p> <p>コメント</p> <p>・N I C U において、対応が必要な患者の円滑な受入れを確保する観点から、G C U などのポストN I C U に計画的に移動する必要がある。</p> <p>・こども医療センターでN I C U のニーズに対応するために県域を超えて対応している取組みは立派である。しっかりと取り組んだものは評価されるべきである。</p>
	区分	平成20年度																													
	N I C U 受入実患者数	512人																													
救急受入件数	6,142件																														
区分	平成22年度実績値	平成24年度目標値																													
N I C U 受入実患者数	543人	600人																													
超低出生体重児入院件数	56件	55件																													
依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数	23件	25件																													
N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	88人	100人																													
救急受入件数	5,112件	-																													
うち入院患者数	1,385人	-																													
<p>・N I C U 病床は常に満床に近い状態で、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者を毎年200人前後受け入れるなど、他の医療機関では治療が困難な患者を可能な限り受け入れている。</p> <p>こうした中、退院調整専従の看護師を配置するなどの工夫により、N I C U の受入実患者数は、目標値及び前年度実績を上回った。</p> <p>・救急受入は、緊急性の高い入院患者数が前年度の実績を上回った。</p> <p>・以上のことから、周産期救急基幹病院としての役割を果たし、小児の三次救急医療の充実に努めている。</p>	<p>N I C U は、先天異常の患者など継続的な治療を要する患者が増え、新生児集中治療室管理料算定患者は1日平均15.4人に留まっていることから、G C U *及び一般病棟との連携の一層の緊密化によるN I C U の運用効率の向上が必要である。</p> <p>G C U * : N I C U で治療を受け、状態が安定した患者が、引き続き治療を受ける回復室で、患者の状態により直接入室する場合もある。</p>																														
<p>・N I C U 受入実患者数 581人</p> <p>超低出生体重児入院件数 42件</p> <p>依頼医療機関から幹旋医療機関への新生児搬送件数 17件</p> <p>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数 78人</p> <p>救急受入件数 5,214件</p> <p>うち入院患者数 1,394人</p>	<p>平成23年度 平成24年度</p> <p>653人 653人</p> <p>33件 33件</p> <p>25件 25件</p> <p>93人 93人</p> <p>4,898件 4,898件</p> <p>1,457人 1,457人</p>																														

小項目7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期
目標

ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																								
			自己点数	評価点数	コメント																								
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <p>・精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。</p> <p>・新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(ウ) 精神医療センター芹香病院（芹香病院）</p> <p>・神奈川県精神保健福祉センター等関係機関との連携を図ることにより、精神科24時間救急を基幹病院として実施し、措置入院患者の受入れのみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。</p> <p>(参考) 精神科救急件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	措置入院患者	93件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ウ 神奈川県立精神医療センター芹香病院・せりがや病院（芹香病院）</p> <p>・精神科救急システムの実施主体である4県市主管課や精神科救急医療情報窓口である神奈川県精神保健福祉センターとの密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者についても県の精神科の基幹病院として積極的な受入れを行う。</p> <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>109件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>43件</td> <td>50件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度実績	平成24年度目標値	措置入院患者	109件	100件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	43件	50件	<p>・神奈川県精神保健福祉センター及び4県市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）により構築された精神科救急医療システムにおいて、精神科の専門病院として精神科救急の基幹病院の役割を果たすとともに、精神科救急医療システム連絡調整会議などを通して密接な連携を図り、措置入院患者や急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者を積極的に受け入れた。</p> <p>[精神科救急件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>108件</td> <td>138件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>46件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・4県市が実施している精神科救急医療システムで、自傷他害の恐れのある精神障害者に対する「精神科24時間救急の病床」を確保している基幹病院は7病院あり、芹香病院は最大の病床を確保し、基幹病院の中でも中心的な役割を担っている。院内で連携を図ることにより、「精神科24時間救急の病床」を常時確保できるよう受入体制を整えた。</p>	区分	平成23年度	平成24年度	措置入院患者	108件	138件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	46件	<p>実績に対する評価</p> <p>救急患者の受入れについては全体として件数の目標値を大幅に上回り、精神科救急システムにおける基幹病院としての役割を果たしている。</p> <p>S</p>	S	<p>・本県における精神医療の基幹病院としての役割を果たしており、高く評価できる。</p>
	区分	平成20年度																											
措置入院患者	93件																												
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件																												
区分	平成22年度実績	平成24年度目標値																											
措置入院患者	109件	100件																											
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	43件	50件																											
区分	平成23年度	平成24年度																											
措置入院患者	108件	138件																											
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	46件																											
<p>課題</p> <p>・今後も措置入院患者の受け入れを継続的に実施していくため、引き続き、4県市主管課等と密接な連携を図っていく。</p> <p>・新棟の整備に伴い精神科救急のより一層の拡大を図るため、病床数の増など、円滑な受入れの体制整備について今後検討を進める。</p>																													

小項目 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			自己点数	評価点数	コメント									
<p>・救急・急性期医療において、早期退院が困難な患者に対し、集中的なリハビリテーションを行い、円滑な退院促進・社会復帰を図る。</p> <p>・ストレスケア医療や、精神障害が多発する思春期を対象とした精神科医療等を実施する。</p>	<p>・難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激法）の開発、復職支援等のリハビリテーションの推進等、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組むとともに、県民に対してうつ病の予防に関する普及啓発に取り組む。</p>	<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法※の開発については、平成24年度は11人（平成23年度以前との合計82人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証するため、実証実験を行うなど先進医療の認定に向けて研究を進めた。</p> <p>※反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS） 8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。</p> <p>・うつ病、うつ状態による休職者や離職者の職場復帰を目的とした通所によるリハビリテーションプログラム（復職支援プログラム）を、認知行動療法や作業療法などを組み合わせ、医師のほか臨床心理士、作業療法士など多職種による治療プログラムにより、1グループ定員が12人程度、4ヶ月間を1クールとして、年4回実施した。 プログラム実施を転機として離職者も含めたプログラム修了者19人中17人が復職又は就職することができた。 プログラムでは、利用者の職場の方との面接を実施し、プログラムの意義や内容を共有化した。</p> <p>(参考) [復職支援プログラム実施患者数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者37人</td> <td>延1,321人</td> <td>実患者32人</td> <td>延1,245人</td> </tr> </tbody> </table>	平成23年度		平成24年度		実患者37人	延1,321人	実患者32人	延1,245人	実績に対する評価	A	A	
			平成23年度		平成24年度									
実患者37人	延1,321人	実患者32人	延1,245人											
			<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法の研究においては、着実に症例を確保し、研究内容の拡充に向けて取り組んだ。</p> <p>・うつ病等の患者の職場復帰に向け、復職支援プログラムを実施し、プログラム修了者の約9割が復職又は就職するなどの成果をあげている。</p> <p>・うつ病予防のための公開講座を1回開催し、県民に対する普及啓発に取り組んだ。</p> <p>・思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、研修を受講し、看護人材の養成に取り組んだ。</p>											

	<p>・新棟整備にあわせ、思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、研修や資格取得の支援を行い、看護人材を養成する。</p>	<p>・地域のクリニック等の職員を対象にうつ病についての講演会やストレスケア病棟の見学会を3回実施するとともに、クリニックを訪問し、ストレスケア病棟の紹介などを行った。</p> <p>・うつ病予防のための県民向けの公開講座を次のとおり実施した。</p> <p>期 日 平成25年1月20日（日） テーマ 「こころの健康を考えてみませんか」 受講者 202人</p> <p>・思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、日本精神科看護技術協会（領域：児童思春期精神看護）などの研修に職員を派遣し、協会の研修を受けた職員のうち1名が試験に合格し、精神科認定看護師の認定を受けた。</p>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1350 268 1682 300">課題</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1350 300 1682 807"> <p>・反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定を得られるようにする。</p> <p>・引き続き復職支援プログラムの更なる充実や参加者の増加を図る。</p> <p>・県民に対するうつ病予防に関する普及啓発に引き続き取り組む。</p> </td> </tr> </table>	課題	<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定を得られるようにする。</p> <p>・引き続き復職支援プログラムの更なる充実や参加者の増加を図る。</p> <p>・県民に対するうつ病予防に関する普及啓発に引き続き取り組む。</p>		
課題							
<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定を得られるようにする。</p> <p>・引き続き復職支援プログラムの更なる充実や参加者の増加を図る。</p> <p>・県民に対するうつ病予防に関する普及啓発に引き続き取り組む。</p>							

小項目 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療機能の充実
-----------------------	---

中期目標	ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																
<p>・医療観察法に基づき既に指定を受けている指定通院医療機関及び鑑定入院医療機関としての医療機能に加えて、入院治療を実施する30床規模の専門病棟の整備を推進する。</p>	<p>・心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）に基づく指定通院医療機関として、通院対象者を個別診療計画に沿って多職種チームが積極的に医療を実施する。</p> <p style="text-align: center;">〔指定通院医療機関の実績と目標値〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">延1,126人</td> <td style="text-align: center;">延1,056人</td> </tr> </table> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関として、平成24年11月に専門病棟（33床）を開棟し、複雑な背景を持った患者に対し、専門治療プログラムに沿った手厚い医療を多職種チームにより実施する。</p>	平成22年度実績	平成24年度目標値	延1,126人	延1,056人	<p>・医療観察法に基づく指定通院医療機関として、多職種チーム（医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等）を4チーム編成して、患者の症状に応じた個別治療計画を策定し、手厚い医療を関係機関の要請に基づいて積極的に実施した。</p> <p>・医療観察法に基づく医療提供を円滑に実施するため、かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を主宰し、県内の医療観察法の指定医療機関や保護観察所、社会福祉施設等との連携を図った。</p> <p style="text-align: center;">〔指定通院医療機関の実績（延べ患者数）〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成23年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成24年度実績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">延1,315人</td> <td style="text-align: center;">延1,054人</td> </tr> </table> <p>・「精神医療センター総合整備計画」に基づき、医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟（33床）の建築工事を進め、平成24年11月から運用を開始した。 また、病棟運営に必要な看護師については、その確保に努めるとともに、専門的な知識の習得のため他病院への交流研修を実施した。</p> <p>・医療観察法に基づく医療の質の向上及び均てん化を図るため芹香病院の多職種チームが指定医療機関を訪問するとともに、他の指定入院医療機関からも職員を受け入れ、医療体制等に係る評価や課題への助言等の技術交流を行った。</p> <p style="text-align: center;">【医療観察法病棟の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">病床数</td> <td style="width: 50%;">33床</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>1,768.15㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>2,998.75㎡</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 2階建</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成24年度実績	延1,315人	延1,054人	病床数	33床	建築面積	1,768.15㎡	延床面積	2,998.75㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・医療観察法に基づく指定通院医療機関として、全国でもトップクラスの通院患者を受け入れている。</p> <p>・医療観察法病棟について、計画どおり整備を進め、平成24年11月から入院患者の受け入れを開始した。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>・平成24年11月に開棟した専門病棟について、円滑に運営していくとともに人材の育成などに引き続き取り組む。</p> <p>・指定通院医療機関として、通院対象者の症状に応じた適切な医療を提供できるよう、他の指定通院医療機関と役割分担等について協議する。</p>	A	A	
平成22年度実績	平成24年度目標値																					
延1,126人	延1,056人																					
平成23年度実績	平成24年度実績																					
延1,315人	延1,054人																					
病床数	33床																					
建築面積	1,768.15㎡																					
延床面積	2,998.75㎡																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建																					

小項目10 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																							
			自己点数	評価点数	コメント																							
<p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（せりがや病院）</p> <p>アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。</p>	<p>（せりがや病院）</p> <p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症の者と中毒性精神障害の者を対象とした外来診療のほか、集団精神療法や作業療法、家族教室などの実施により、新たな外来患者の受入れに努める。また、依存症医療の専門病院として地域の医療機関では治療が困難な患者の受入れや県市の保健所等の行政機関との連携に積極的に取り組む。</p> <table border="1"> <caption>【外来初診患者数の実績と目標値】</caption> <thead> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延734人</td> <td>延750人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【初診患者の紹介率の実績と目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.4%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・せりがや病院が薬物依存の患者に対して開発した再乱用防止認知行動療法(SMARPP:Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program)のプログラムを活用して、通院の継続を図る。 また、入院の繰り返しを防止するために高齢者用に開発した治療プログラムを、知的障害や発達障害等の言語的理解の困難な患者へ適用を拡大する。</p>	平成22年度実績	平成24年度目標値	延734人	延750人	平成22年度実績	平成24年度目標値	35.4%	40.0%	<p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、ミーティング等を取り入れた治療プログラムや家族教室を実施したほか、受診の前日に電話連絡するなどきめ細やかな患者対応に努め、外来患者の受け入れに取り組んだ。 また、依存症医療における地域との連携・協力を進め、初診患者の紹介率を高めて、初診患者の増加に努めることとした。</p> <p>アルコール家族教室 年間21回 第1・第3木曜日</p> <p>薬物家族教室 年間24回 第2・第4木曜日</p> <p>【外来初診患者数の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来初診患者数</td> <td>延707人</td> <td>延744人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【初診患者の紹介率の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34.9%</td> <td>38.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・SMARPPの内容を充実させるため、依存物質（処方薬、覚醒剤等）によりグループを細分化し、グループ数を増加させた。これにより参加患者数が増加した。</p> <p>※SMARPP（Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）とは、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形で、せりがや病院で修正したものである。</p> <p>（参考）【SMARPP実施患者数の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数97人 延790人</td> <td>実患者数138人 延1,110人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成24年度実績	外来初診患者数	延707人	延744人	平成23年度実績	平成24年度実績	34.9%	38.8%	平成23年度	平成24年度	実患者数97人 延790人	実患者数138人 延1,110人	<p>実績に対する評価</p> <p>・外来初診患者数を増やすため、外来での初診枠を拡大した。 また、社会的にも問題になっている脱法ハーブに関する報道も相まって、ハーブ関連の初診患者が増加した。</p> <p>・SMARPPのグループを依存物質により細分化し、グループ数を増加させた。これにより内容を充実させることができ、効果的にプログラムを実施した。</p> <p>・薬物乱用防止教室を開催し、専門病院としての臨床経験を踏まえた啓発活動を実施した。</p>	A	A	
平成22年度実績	平成24年度目標値																											
延734人	延750人																											
平成22年度実績	平成24年度目標値																											
35.4%	40.0%																											
区分	平成23年度実績	平成24年度実績																										
外来初診患者数	延707人	延744人																										
平成23年度実績	平成24年度実績																											
34.9%	38.8%																											
平成23年度	平成24年度																											
実患者数97人 延790人	実患者数138人 延1,110人																											

	<p>・深刻化する青少年の薬物乱用を防止するため、学校の「薬物乱用防止教室」に職員を派遣し、専門病院としての臨床経験を踏まえたロールプレイなどを活用して啓発活動を行う。</p>	<p>・県と連携して、県内の中学校、高校等で開催される薬物乱用防止教室に職員を派遣し、啓発活動を行った（実績 延27施設、6,701人）。社会的問題となっている「脱法ハーブ」関連の依頼も多く、実情について説明し、専門病院としての臨床経験を踏まえた啓発活動を行った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療のキャンセルが多いという患者特性があるが、前日に電話で受診を促すなどして初診キャンセルの減少に努めるとともに、広報や地域の医療機関との連携を通して、外来初診患者の確保を図る。 ・ 引き続き専門治療プログラムによる依存症医療を着実に実施していく。 ・ 処方薬による薬物依存や脱法ハーブへの対応にも積極的に取り組む。 			
--	--	--	---	--	--	--

小項目 1 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価												
			自己点数	評価点数	コメント												
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (イ) がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療待ち、手術待ちの患者が多数いる状況を改善するため、外来診療及び手術実施体制の整備、充実を図る。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>2,471件</td> <td>3,900件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	2,471件	3,900件	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>エ 神奈川県立がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術実施体制の充実を図り、手術待ちの患者が多数いる状況を改善する。 <p>[手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>2,565件</td> <td>2,700件</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	2,565件	2,700件	<p>平成24年度は、長時間、難易度の高い手術が増加する中で、医師、看護師ほか手術室のスタッフによる手術の合間の時間の短縮、手術後の使用材料記録時間の短縮など、手術室の効率的運用を引き続き行った結果、目標を超える手術を実施した。</p> <p>[手術件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>2,564件</td> <td>2,738件</td> </tr> </table>	平成23年度	平成24年度	2,564件	2,738件	<p>実績に対する評価</p> <p>平成24年度は平成23年度に比べ、難易度が高く、長時間にわたる手術が共に増加したにもかかわらず、計画的、効率的に実施した結果、目標を達成した。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	
	平成20年度実績	平成26年度目標値															
	2,471件	3,900件															
平成22年度実績	平成24年度目標値																
2,565件	2,700件																
平成23年度	平成24年度																
2,564件	2,738件																
課題		<p>新病院での手術室は、現在の6室より段階的に12室とするが、手術室スタッフの必要人数の確保に努め、効率的な運用体制の確立を早期に整える。</p>															

小項目 1 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																							
			自己点数	評価点数	コメント																							
<p>・外来化学療法件数の増加に対応するため、外来化学療法室の拡充を図る。</p> <p>[外来化学療法件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>12,130件</td> <td>15,000件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	12,130件	15,000件	<p>・外来化学療法の質を向上し、がん対策を総合的に推進する。</p> <p>[外来化学療法件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>11,746件</td> <td>11,700件</td> </tr> </table> <p>・外来化学療法については、患者が十分に理解し、安心して治療が受けられるよう外来治療室において、薬剤師による指導の充実を図る。</p> <p>[外来薬剤指導件数の目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>1,500件</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	11,746件	11,700件	平成24年度目標値	1,500件	<p>・外来化学療法については、実患者数が平成23年度から増加しているが、治療が長時間に及ぶ患者が増加したこともあり、治療件数は平成23年度の11,785件から平成24年度は11,624件と、目標にわずかに及ばなかった。</p> <p>・外来化学療法の質の向上のため、リストバンドによる患者認証システムを導入し、患者誤認防止に努めた。</p> <p>[外来化学療法件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>11,785件</td> <td>11,624件</td> </tr> <tr> <td>実患者数</td> <td>1,403人</td> <td>2,058人</td> </tr> </table> <p>・薬剤指導件数は、患者が十分に理解し、安心して治療が受けられるよう負担の軽減、不安の解消を図るよう、外来治療室において薬剤師による指導の充実を図り、平成23年度の1,586件から平成24年度は1,782件と196件増加した。</p> <p>[外来薬剤指導件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>1,586件</td> <td>1,782件</td> </tr> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	件数	11,785件	11,624件	実患者数	1,403人	2,058人	平成23年度	平成24年度	1,586件	1,782件	<p>実績に対する評価</p> <p>外来化学療法は、入院患者の内、通院可能な患者を外来に切り替え、更に薬剤管理の体制を容易にしたことから薬剤指導件数を大幅に上回ることができ、外来化学療法室での質の向上に努めることができた。更にリストバンドによる患者認証システムの導入により、患者の安心した医療への構築を整えた。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	
	平成20年度実績	平成26年度目標値																										
	12,130件	15,000件																										
平成22年度実績	平成24年度目標値																											
11,746件	11,700件																											
平成24年度目標値																												
1,500件																												
区分	平成23年度	平成24年度																										
件数	11,785件	11,624件																										
実患者数	1,403人	2,058人																										
平成23年度	平成24年度																											
1,586件	1,782件																											
			<p>課題</p> <p>・新病院での外来化学療法室は倍増するため、それまでに外来看護師や薬剤師の確保等運用体制の充実を図る。</p>																									

小項目 1 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																						
<p>・放射線治療を充実するため、3次元照射が可能な放射線治療装置や重粒子線治療装置を導入する。</p>	<p>・高精度リニアックの導入により、より精度の高い放射線治療の実施及び拡充を図る。</p> <p>[放射線治療件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,109件</td> <td>19,000件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[照射方法別治療実患者数の目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>照射方法</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射</td> <td>600人 30回</td> </tr> <tr> <td>IMRT (強度変調)</td> <td>25人 37回</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>24人 4回</td> </tr> <tr> <td>全身照射</td> <td>20人 1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成27年中からの重粒子線治療の開始に向け、平成23年度から行っている施設の実施設計を年度内に完了し、建築工事に着手する。また、装置製造を引き続き行う。</p>	平成22年度実績	平成24年度目標値	19,109件	19,000件	照射方法	平成24年度目標値	通常照射	600人 30回	IMRT (強度変調)	25人 37回	定位照射	24人 4回	全身照射	20人 1回	<p>・リニアックが順調に稼動したことにより、平成24年度の放射線治療件数の実績は、目標の19,000件を超える19,041件となった。照射方法別では、通常照射が目標を大幅に超える実績となった。</p> <p>[放射線治療件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,243件</td> <td>19,041件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[照射方法別治療実患者数の実績値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>照射方法</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射</td> <td>769人 30回</td> </tr> <tr> <td>IMRT (強度変調)</td> <td>15人 37回</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>13人 4回</td> </tr> <tr> <td>全身照射</td> <td>20人 1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※照射回数については標準的照射回数を示しています。</p> <p>・重粒子線治療施設については、平成27年12月の治療開始に向けて、平成24年12月に建設工事に着手するとともに、装置の製造を引き続き行った。</p> <p>【重粒子線治療施設概要】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>3,009.12㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>6,999.47㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地上2階、地下1階建</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>治療室数</td> <td>4治療室 6治療ポート</td> </tr> </tbody> </table>	平成23年度	平成24年度	10,243件	19,041件	照射方法	平成24年度	通常照射	769人 30回	IMRT (強度変調)	15人 37回	定位照射	13人 4回	全身照射	20人 1回	建築面積	3,009.12㎡	延床面積	6,999.47㎡	階数	地上2階、地下1階建	構造	鉄筋コンクリート造	治療室数	4治療室 6治療ポート	<p>実績に対する評価</p> <p>・リニアックが順調に稼動したことにより、平成24年度の放射線治療件数は目標値を達成した。</p> <p>・円滑な重粒子線治療施設の運営を行うため、診療放射線技師を先行して治療を行っている施設へ派遣し人材育成を図った。</p> <p>・平成27年12月の治療開始に向け、重粒子線治療施設の建設工事及び装置の設計・製造を進めた。</p> <p>課題</p> <p>・現病院で新がんセンターへ移設する、リニアックの治療に向けた運用体制の強化を図り、精度の高い放射線治療の実施及び拡充を目指す。</p>	A	A	
		平成22年度実績	平成24年度目標値																																									
19,109件	19,000件																																											
照射方法	平成24年度目標値																																											
通常照射	600人 30回																																											
IMRT (強度変調)	25人 37回																																											
定位照射	24人 4回																																											
全身照射	20人 1回																																											
平成23年度	平成24年度																																											
10,243件	19,041件																																											
照射方法	平成24年度																																											
通常照射	769人 30回																																											
IMRT (強度変調)	15人 37回																																											
定位照射	13人 4回																																											
全身照射	20人 1回																																											
建築面積	3,009.12㎡																																											
延床面積	6,999.47㎡																																											
階数	地上2階、地下1階建																																											
構造	鉄筋コンクリート造																																											
治療室数	4治療室 6治療ポート																																											

	<ul style="list-style-type: none">・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を、先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより人材育成を図る。	<ul style="list-style-type: none">・先行して重粒子線治療を行う施設である放射線医学総合研究所に、平成24年10月から平成25年2月までの期間、診療放射線技師を研修派遣し、人材育成に取り組んだ。・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成25年1月に県民を対象とした公開講座を開催した。				
--	---	--	--	--	--	--

小項目 1 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>
 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標
 エ がんセンター
 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																								
・専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内の医療従事者を対象に研修等を行う。さらに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。 (参考) がん専門研修実績 (平成20年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	緩和ケア研修	2回	94人	・がん専門医を育成するため、がん専門医臨床研修(後期臨床研修)を充実する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象に研修等を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。 [がん専門研修の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>33回</td> <td>648人</td> <td>30回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>55人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> (注) 緩和ケア研修は、2回で1コース	区分	平成22年度実績		平成24年度目標値		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	33回	648人	30回	600人	緩和ケア研修	2回	55人	2回	50人	・がん診療に関する専門医を育成することを目的としたがん専門医臨床研修(後期臨床研修)制度により、平成24年度には新たに5名を採用し、専攻する診療科を中心として研修を実施した。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため、がん臨床講座や緩和ケア研修など、県内の医療従事者を対象とした研修等を開催した。 また、地域がん診療連携拠点病院による研修の連携や、地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施した。 [がん専門研修の実績] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">がん臨床講座</td> <td>31回</td> <td>626人</td> <td>31回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(毎週水曜日 18:30~19:30)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緩和ケア研修</td> <td>1コース</td> <td>67人</td> <td>1コース</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(2日で1コース H25年2月23日、24日)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度		平成24年度		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	31回	626人	31回	560人	(毎週水曜日 18:30~19:30)				緩和ケア研修	1コース	67人	1コース	42人	(2日で1コース H25年2月23日、24日)				実績に対する評価 ・がん専門医臨床研修制度により、平成24年度は5名を採用し、がん専門医の育成に努めた。 ・がん臨床講座、緩和ケア研修の開催を通じて、医師をはじめとした医療従事者の育成に寄与した。	B	B	・臨床研修医を5名採用した取組みは評価できる。
	区分	回数	参加人数																																																										
	がん臨床講座	30回	568人																																																										
緩和ケア研修	2回	94人																																																											
区分	平成22年度実績		平成24年度目標値																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																									
がん臨床講座	33回	648人	30回	600人																																																									
緩和ケア研修	2回	55人	2回	50人																																																									
区分	平成23年度		平成24年度																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																									
がん臨床講座	31回	626人	31回	560人																																																									
	(毎週水曜日 18:30~19:30)																																																												
緩和ケア研修	1コース	67人	1コース	42人																																																									
	(2日で1コース H25年2月23日、24日)																																																												
			課題 ・引き続きがん医療の均てん化に向けた専門医等の育成を進める必要がある。 ・内部医師の研修参加人数は一定数を保ち安定しているが、外部医師への宣伝広報にさらに力を入れ、がん臨床講座1回当たりの平均参加人数20名を目指すなど、参加人数の増加に努める。																																																										

小項目 15 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																								
			自己点数	評価点数	コメント																								
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(オ) 循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓カテーテル・手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制を充実する。 <p>(参考) PCI症例数実績 (H20年度) 414件</p>	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>オ 神奈川県立循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症などの虚血性心疾患や急性心筋梗塞の治療は、従来からPCIを中心に行ってきたが、近年、新たな研究発表などにより、冠動脈バイパス手術の適応が広がっていることから、PCIの適応を見直しながら心臓手術を充実する。 <p style="text-align: center;">[PCI症例数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">279件</td> <td style="text-align: center;">260件</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">[心臓手術の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">78件</td> <td style="text-align: center;">84件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、不整脈の患者が年々増加傾向にある中、内服治療に加え、カテーテルアブレーションにも拡大を図る。 <p style="text-align: center;">[カテーテルアブレーション症例数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年度実績</td> <td style="width: 50%;">平成24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">65件</td> <td style="text-align: center;">100件</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	279件	260件	平成22年度実績	平成24年度目標値	78件	84件	平成22年度実績	平成24年度目標値	65件	100件	<p>・PCI及びカテーテルアブレーションについては、スタッフの技術の向上と設備の充実により、着実な実績をあげた。また、平成24年度は、病院として初めて肺動脈拡張術(BPA)を施行したほか、心臓リハビリテーションを積極的に取り入れるなど、循環器医療の推進に努めた。</p> <p>・心臓手術については、目標件数を若干下回ったものの、難易度の高い症例に対して良好な結果を収めた。また、心臓手術の分野における低侵襲治療への流れを受けて、小切開による手術など新しい治療にも取り組むと同時に、手術に関する新しい工夫等を論文執筆等により国内外に情報発信した。</p> <p style="text-align: center;">[PCI症例数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成23年度</td> <td style="width: 50%;">平成24年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">265件</td> <td style="text-align: center;">281件</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">[心臓手術の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成23年度</td> <td style="width: 50%;">平成24年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">83件</td> <td style="text-align: center;">78件</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">[カテーテルアブレーション件数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成23年度</td> <td style="width: 50%;">平成24年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87件</td> <td style="text-align: center;">93件</td> </tr> </table>	平成23年度	平成24年度	265件	281件	平成23年度	平成24年度	83件	78件	平成23年度	平成24年度	87件	93件	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">A</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">A</p>	<p>・PCI症例件数については目標を達成した。心臓手術及びカテーテルアブレーション件数については、目標値には達しなかったものの、前年同様の水準を維持した。</p> <p>・医療の高度化や心疾患の複雑化が進む中で、治療への対応はもとより、患者の早期社会復帰や再発予防にも力を注ぐなど、治療体制の充実と医療の質的向上に努めた。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>質の高い総合的な循環器治療をより多くの患者に提供できるよう、チーム医療の充実を図る必要がある。また、各部署との連携により、緊急症例への迅速な対応が可能な体制を強化する必要がある。</p>
平成22年度実績	平成24年度目標値																												
279件	260件																												
平成22年度実績	平成24年度目標値																												
78件	84件																												
平成22年度実績	平成24年度目標値																												
65件	100件																												
平成23年度	平成24年度																												
265件	281件																												
平成23年度	平成24年度																												
83件	78件																												
平成23年度	平成24年度																												
87件	93件																												

小項目 16 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- オ 循環器呼吸器病センター
- 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
- また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																	
<p>・肺がん治療を強化するため、身体への負担が少ない胸腔鏡下手術や化学療法、放射線治療を実施する体制を充実する。</p>	<p>・開胸手術に比べ、低侵襲である胸腔鏡下手術に積極的に取り組む。</p> <p>[胸腔鏡下手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>326件</td> <td>300件</td> </tr> </table> <p>・化学療法については、入院治療とあわせ、外来での通院治療を積極的に推進する。</p> <p>[化学療法件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>1,194件</td> <td>1,200件</td> </tr> </table> <p>・平成24年8月から本格稼働する高精度リニアックを活用し、強度変調放射線治療、定位放射線治療等より精度の高い治療を行う。</p> <p>[放射線治療件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>138件</td> <td>80件</td> </tr> </table> <p>・間質性肺炎については、呼吸器専門病院としての特性を生かして、従来ステロイド、免疫療法に加え、近年、承認された抗線維化薬を積極的に導入する。</p> <p>[間質性肺炎の新規外来患者数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>192件</td> <td>180件</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	326件	300件	平成22年度実績	平成24年度目標値	1,194件	1,200件	平成22年度実績	平成24年度目標値	138件	80件	平成22年度実績	平成24年度目標値	192件	180件	<p>・胸腔鏡下手術については、呼吸器外科手術の大半に導入し、目標を4件上回る304件の実績となった。</p> <p>・化学療法については、患者が社会生活を維持しながら治療できるよう外来での通院治療への対応を進め、実績としては目標値を下回ったものの、高い水準で稼働した。</p> <p>・放射線治療件数（治療計画作成件数）については、新しいリニアックが平成24年8月から稼働し、前年度比26件増の77件とほぼ目標を達成した。</p> <p>・間質性肺炎については、抗線維化薬を積極的に導入するなど診断・治療の豊富な経験を生かし、全国から患者を受け入れており、新規外来患者数は218件と目標を上回った。</p> <p>[胸腔鏡下手術の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>278件</td> <td>304件</td> </tr> </table> <p>[化学療法件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>1,189件</td> <td>1,110件</td> </tr> </table> <p>[放射線治療件数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>51件</td> <td>77件</td> </tr> </table> <p>[間質性肺炎の新規外来患者数の実績]</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>176件</td> <td>218件</td> </tr> </table>	平成23年度	平成24年度	278件	304件	平成23年度	平成24年度	1,189件	1,110件	平成23年度	平成24年度	51件	77件	平成23年度	平成24年度	176件	218件	<p>実績に対する評価</p> <p>・肺がん患者に対する手術、化学療法及び放射線治療を組み合わせ効果的に行う集学的治療への対応を進め、総合的な肺がん診療に取り組んだ。</p> <p>・間質性肺炎については、専門外来を設置し、質の高い医療を提供することにより、県外からもセカンドオピニオンを含め多くの患者が受診しており、新規外来患者数は前年比24%増と目標を大きく上回った。</p>	A	A	
		平成22年度実績	平成24年度目標値																																			
326件	300件																																					
平成22年度実績	平成24年度目標値																																					
1,194件	1,200件																																					
平成22年度実績	平成24年度目標値																																					
138件	80件																																					
平成22年度実績	平成24年度目標値																																					
192件	180件																																					
平成23年度	平成24年度																																					
278件	304件																																					
平成23年度	平成24年度																																					
1,189件	1,110件																																					
平成23年度	平成24年度																																					
51件	77件																																					
平成23年度	平成24年度																																					
176件	218件																																					
<p>課題</p> <p>・肺がん患者が年々増加する中で、肺がん診療専門施設として質の高い医療を提供していくため、チームによる包括的な診療体制の充実強化を図る必要がある。</p> <p>・放射線治療については、治療体制を確立し、治療装置の稼働率を高める必要がある。</p> <p>・間質性肺炎については、質の高い医療をより多くの患者に提供するとともに、情報発信に努める。</p>																																						

小項目 17 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価											
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント										
・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を継続的に実施する。	・多剤耐性結核対策として、入院患者全員に対し実施しているDOTS（直接監視下短期化学療法）を退院後も継続して確実に出来るよう、地域の保健所などと定期的にカンファレンスを開催する。 ・退院後の生活支援に当たっては、保健所や老人保健施設等との連携も進めていく。	・結核入院患者全員に院内DOTSを実施するとともに、退院患者についても、毎月地域の保健福祉センター等と定期的な会議を開くなど、地域ぐるみでの支援を行い、再発率の低下や多剤耐性結核の発生防止に努めた。 ・また、患者が病気を理解し、服薬の必要性を認識するよう勉強会を開催したり、隔離された入院生活からのストレスを緩和するため、コンサートを開くなどの取組を行った。 [結核病棟延入院患者数の推移]（下段は1日当たり） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>13,478人</td> <td>12,715人</td> </tr> <tr> <td>(36.8人)</td> <td>(34.8人)</td> </tr> </table> [多剤耐性結核患者の推移] <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> </table>	平成23年度	平成24年度	13,478人	12,715人	(36.8人)	(34.8人)	平成23年度	平成24年度	2人	0人	社会環境の変化とともに、県内の結核病床数は減少している中、医療の大きな柱の一つとして、多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を着実に実施した。	A	A	
			平成23年度	平成24年度												
			13,478人	12,715人												
(36.8人)	(34.8人)															
平成23年度	平成24年度															
2人	0人															
課題	結核患者の高齢化が進む中で、退院先が決まらない患者については、福祉保健センターや老人保健施設等との情報交換を積極的に実施し、地域の連携を強めていく必要がある。															

小項目 18 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期目標

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																
(1) 医療機能の充実 ウ 医療機能を評価する指標の設定 病院の医療機能を評価するため、年度計画に病院ごとの指標を明示し、その実績を公表する。	(1) 医療機能の充実 カ 医療機能を評価する指標の設定 平成23年度から全病院が取り組む「病院機構の共通指標（別表第1）」及び各病院の持つ専門性・地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（別表第2）」を設定し、その実績の測定を行うことにより、医療の質の向上を目指す取組を明確化する。 また、平成25年度に向けて指標の追加・修正の必要性、実績の公表方法等の検討を行う。	<p>平成24年度に取り組んだ「病院機構の共通指標（8指標）」と、各病院の持つ専門性・地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（18指標）」の実績の測定結果は、次のとおりである。</p> <p>1 患者満足度把握（患者満足度調査）</p> <p>[平成24年度満足度調査結果]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>母数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>母数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>93人</td> <td>128人</td> <td>72.7%</td> <td>200</td> <td>217人</td> <td>323人</td> <td>67.2%</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>135人</td> <td>177人</td> <td>76.3%</td> <td>313</td> <td>723人</td> <td>1,111人</td> <td>65.1%</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>69人</td> <td>111人</td> <td>62.2%</td> <td>127</td> <td>171人</td> <td>345人</td> <td>49.6%</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>33人</td> <td>43人</td> <td>76.7%</td> <td>52</td> <td>98人</td> <td>105人</td> <td>93.3%</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>284人</td> <td>311人</td> <td>91.3%</td> <td>378</td> <td>574人</td> <td>704人</td> <td>81.5%</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>163人</td> <td>185人</td> <td>88.1%</td> <td>400</td> <td>342人</td> <td>397人</td> <td>86.1%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p> <p>2 地域連携室等の相談件数</p> <p>[相談件数実績（地域医療連携室等への診療相談）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11,264件</td> <td>11,439件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>21,933件</td> <td>27,137件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4,679件</td> <td>4,817件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>391件</td> <td>498件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9,354件</td> <td>8,352件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11,416件</td> <td>14,497件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59,037件</td> <td>66,740件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	母数	満足評価	回答総数	満足度	母数	足柄上病院	93人	128人	72.7%	200	217人	323人	67.2%	390	こども医療センター	135人	177人	76.3%	313	723人	1,111人	65.1%	2,000	芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345	せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112	がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843	循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	11,264件	11,439件	こども医療センター	21,933件	27,137件	芹香病院	4,679件	4,817件	せりがや病院	391件	498件	がんセンター	9,354件	8,352件	循環器呼吸器病センター	11,416件	14,497件	計	59,037件	66,740件	実績に対する評価 全病院共通した指標及び各病院の特徴を踏まえた指標を設定し、医療機能を客観的に評価を行い、県立病院として医療の質の向上を目指す取組を推進した。	A	A	・患者満足度については、経年推移を示していただきたい。またクリティカルパスについては、目標値や運用のあり方について検討していただきたい。
				病院名	入院				外来																																																																																												
満足評価	回答総数	満足度	母数		満足評価	回答総数	満足度	母数																																																																																													
足柄上病院	93人	128人	72.7%	200	217人	323人	67.2%	390																																																																																													
こども医療センター	135人	177人	76.3%	313	723人	1,111人	65.1%	2,000																																																																																													
芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345																																																																																													
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112																																																																																													
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843																																																																																													
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600																																																																																													
病院名	平成23年度	平成24年度																																																																																																			
足柄上病院	11,264件	11,439件																																																																																																			
こども医療センター	21,933件	27,137件																																																																																																			
芹香病院	4,679件	4,817件																																																																																																			
せりがや病院	391件	498件																																																																																																			
がんセンター	9,354件	8,352件																																																																																																			
循環器呼吸器病センター	11,416件	14,497件																																																																																																			
計	59,037件	66,740件																																																																																																			
			課題 医療の質に対する関心の増大に対応するため、今後も患者にとって分かりやすい医療情報の提供に努めるとともに、各指標の妥当性の検討を行い、指標の改善を図る。																																																																																																		

3 クリティカルパスの設定数

[クリティカルパスの件数実績] (件)

病院名	平成23年度	平成24年度			
		新規	変更(見直し)	廃止	件数
足柄上病院	70	2	15	1	71
こども医療センター	29	72	17	12	89
芹香病院	3	0	0	0	3
せりがや病院	3	1	2	0	4
がんセンター	32	5	0	0	37
循環器呼吸器病センター	20	1	8	0	21
計	157	81	42	13	225

4 退院サマリーの2週間以内完成率

[退院サマリーの2週間以内完成率(平成24年度実績)]

平成24年度目標値 80.0%

	分子	分母	測定値
	担当医が退院後2週間以内にサマリーを完成した数	退院患者数	2週間以内完成率
足柄上病院	5,178件	6,211人	83.4%
こども医療センター	5,323件	7,297人	72.9%
芹香病院	609件	612人	99.5%
せりがや病院	310件	381人	81.4%
がんセンター	7,297件	8,449人	86.4%
循環器呼吸器病センター	3,984件	4,334人	91.9%

5 ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況

医療安全に関する指標(ヒヤリ・ハット事例、医療事故) 平成24年度実績

病院名	ヒヤリ・ハット事例					医療事故					総計
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5	小計		
足柄上病院	315件	1,312件	214件	37件	1,878件	2件	0件	0件	2件	1,880件	
こども医療センター	278件	1,690件	123件	60件	2,151件	3件	0件	0件	3件	2,154件	
芹香病院	97件	429件	61件	13件	600件	2件	0件	0件	2件	602件	
せりがや病院	29件	102件	19件	2件	152件	0件	0件	0件	0件	152件	
がんセンター	272件	1,546件	86件	17件	1,921件	2件	0件	0件	2件	1,923件	
循環器呼吸器病センター	137件	820件	257件	30件	1,244件	3件	0件	0件	3件	1,247件	
総計	1,128件	5,899件	760件	159件	7,946件	12件	0件	0件	12件	7,958件	

6 褥瘡患者発生率

〔褥瘡患者発生率（平成24年度実績）〕

病院名	分子	分母	測定値
	新規褥瘡発生患者数（新規褥瘡発生件数※）	入院患者数（延べ入院患者数※）	
足柄上病院	61件	6,384人	0.96%
こども医療センター	122件	126,949人	0.10%
芹香病院	8件	2,887人	0.28%
せりがや病院	0件	426人	0.00%
がんセンター	114件	11,905人	0.96%
循環器呼吸器病センター	37件	4,322人	0.86%

※こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数

7 新卒看護師離職率

〔新卒看護師離職率の実績〕

(人)

平成24年度目標値：9.5%未満

区分	平成23年度	平成24年度
病院機構の新卒看護師採用人数	122人	127人
病院機構の新卒看護師退職人数	14人	7人
病院機構の新卒看護師離職率	11.5%	5.5%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	-
全国の新卒看護師平均離職率	7.5%	-

8 専門・認定看護師数

〔専門看護師等の有資格者数実績〕

(人)

区分	平成23年度	平成24年度
専門看護師	15	21
小児看護	5	6
がん看護	7	11
家族看護	2	2
慢性疾患看護	1	1
精神看護	0	1
認定看護管理者	3	5
認定看護師	51	52
皮膚・排泄ケア	6	6
集中ケア	8	8
がん性疼痛看護	16	15
がん化学療法	3	4
乳がん看護	1	1
緩和ケア	6	4
感染管理	7	7
糖尿病看護	0	2
小児救急看護	2	2
新生児集中ケア	2	2
救急看護	0	1
精神科認定看護師	5	5
計	74	83

(イ) 各病院の専門性・特性に応じた指標 18指標

【足柄上病院】

- ・糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c<6.9
- ・心筋梗塞の治療開始時間
- ・地域がん登録の登録率

【こども医療センター】

- ・1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
- ・ハイリスク妊娠取扱率
- ・患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
- ・在宅療養指導実施件数

【芹香病院】

- ・医療観察法の通院医療延患者数
- ・全県における救急病棟の措置入院の受入率
- ・外来患者への訪問看護延件数

【せりがや病院】

- ・初診患者の紹介率

【がんセンター】

- ・主たる手術の包括算定の対象入院期間Ⅱ以内の割合
- ・歯科口腔ケアの取組件数
- ・英文原著論文数及びそのインパクトファクター
- ・専門看護外来患者数

【循環器呼吸器病センター】

- ・急性心筋梗塞患者における病院到着からPCIによる再開通までの時間
- ・心臓MRI検査件数
- ・リハビリテーション実施件数

9 糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c<6.9

[足柄上病院]

実績値 55.7 % (目標値 50%)
 (分子) HbA1c<6.9の患者数 502人
 (分母) インスリン又は経口血糖降下薬を処方されている患者数 902人

10 心筋梗塞の治療開始時間(Door to Balloon Time)

[足柄上病院]

実績値 73.3% (目標値 55%)
 (分子) 来院から初回冠動脈拡張術までの時間が90分以内の患者数 11人
 (分母) 緊急冠動脈形成術施行患者数 15人

11 地域がん登録の登録率

[足柄上病院]

実績値 95.2 % (目標値 80%)
 (分子) 地域がん登録をしたがん患者数 377人
 (分母) 全がん治療患者数 396人

12 1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数

[こども医療センター]

実績値 77件 (目標値 105件)

13 ハイリスク妊娠取扱率

[こども医療センター]

実績値 38.8% (目標値 29%)
 (分子) ハイリスク妊娠管理加算又はハイリスク分娩管理加算の算定対象患者数 205人
 (分母) 全分娩件数 529件

14 患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率

[こども医療センター]

実績値 85.2% (目標値 70%)
 (分子) 患者・家族の意見を反映させた看護計画の実施患者数 3,553人
 (分母) クリティカルパス適用及び一日入院患者を除いた入院実患者数 4,170人

15 在宅療養指導実施件数

[こども医療センター]

実績値 504件 (目標値 1,200件)

- 16 医療観察法の通院医療延患者数
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 1,054人 (目標値 1,056人)
- 17 全県における救急病棟の措置入院の受入率
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 19.9% (目標値 20%)
 (分子) 1年間の措置入院延件数 141件
 (分母) 1年間の全県の延措置入院件数 707件
- 18 外来患者への訪問看護延件数
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 2,928件 (目標値 2,500件)
- 19 初診患者の紹介率
 [精神医療センター せりがや病院]
 実績 38.3% (目標値 40%)
 (分子) 1年間の紹介患者延数 285人
 (分母) 1年間の初診患者延数 744人
- 20 主たる手術の包括算定の対象入院期間Ⅱ以内の割合
 [がんセンター]
- ①肺の悪性腫瘍
 実績値 96.7% (目標値 90%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(13日)以内の
 手術数 260件
 (分母) 手術数 269件
- ②胃の悪性腫瘍
 実績値 93.4% (目標値 90%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(20日)以内の
 手術数 114件
 (分母) 手術数 122件
- ③乳房の悪性腫瘍
 実績値 83.6% (目標値 70%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ(8日)以内の
 手術数 179件
 (分母) 手術数 214件

- 21 歯科口腔ケアの取組件数
 [がんセンター]
 実績値 198例 (目標値 200例)
- 22 英文原著論文数及びそのインパクトファクター
 [がんセンター]
 実績値
 日本病理学会の英文誌 1.488点
 (Patholgy Intemational)
 臨床研究所の平均 2.523点
 (分子) インパクトファクター 98.388点
 (分母) 論文数 39件
- 23 専門看護外来患者数
 [がんセンター]
 実績値 1,458人 (目標値 2,000人)
- 24 急性心筋梗塞患者における病院到着からP C Iによる再開通までの時間
 [循環器呼吸器病センター]
 実績値 87.9% (目標値 80%以上)
 (分子) 来院から初回冠動脈拡張術までの時間が90分以内の患者数 29人
 (分母) 緊急冠動脈形成術施行患者数 33人
- 25 心臓MRI検査件数
 [循環器呼吸器病センター]
 実績値 429件 (目標値 450件)
- 26 リハビリテーション実施件数
 [循環器呼吸器病センター]
 実績値 心臓リハビリテーション 2,302件
 (目標値 2,200件)
 呼吸器リハビリテーション 4,036件
 (目標値 2,850件)

小項目 19 業務実績及び評価

<評価の大項目>	
第1	県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
1	質の高い医療の提供
	(2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標	(2) 医療機器・施設整備の推進
	医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。 また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、計画的に3次元照射が可能な放射線治療装置、全身用コンピュータ断層撮影装置等の医療機器を整備する。	(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 ・高額医療機器について、こども医療センターにおいて人工心肺装置の増設並びにがんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて生体情報管理システムの更新をはじめとした計画的な整備、更新を行う。 ・通常の医療機器について、計画的な整備により老朽化した機器を更新する。	【高額医療機器】 [足柄上病院] 一般撮影用画像読み取り処理装置 [こども医療センター] 人工心肺装置 診断用マルチスライスCT搭載ガンマカメラ 移動式OPE用顕微鏡 全自動生化学免疫測定システム デジタルX線TVシステム [がんセンター] 集中治療部門生体情報管理システム 密封小線源治療計画システム シンチレーションカメラシステム [循環器呼吸器病センター] 集中治療部門生体情報管理システム 手術器具滅菌装置 【通常医療機器】 [足柄上病院] 超音波診断装置 等 [こども医療センター] 超音波診断装置 等 [芹香病院] 生化学自動分析装置 等 [せりがや病院] 2クランクギャッチベッド 等 [がんセンター] 蛍光顕微鏡、コルポスコープ 等 [循環器呼吸器病センター] 内視鏡システム 等	実績に対する評価 高度化、複雑化する医療水準、医療ニーズに的確に対応するための資産の整備・更新を、計画どおり実施した。	A	A	・予定どおり整備が進んでいるのは結構だが、主な機器については稼働後に診療の際に効果的に活用できているかをフォローしていく必要がある。
			課題 各所属の患者ニーズを的確に把握し、中長期の将来構想を踏まえた整備計画の策定について、検討を行う必要がある。			

小項目 20 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- ア がんセンターの総合整備の推進
- がんセンターについては、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため、平成25年度中の診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を着実に推進すること。
- また、がんセンターの機能充実を図るため、平成26年度からの治療開始を目指し、重粒子線治療装置の導入を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																										
			自己点数	評価点数	コメント																																																										
<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院として、本県におけるがん医療の中心的な役割を担うため、平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を計画的に推進する。</p> <p>また、平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療装置の導入を進める。</p>	<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>・平成25年度中の新病院開業・診療開始に向けて、建築工事に着手し、SPCとの運営協議や医療機器・備品の調達準備等を進める。</p> <p>・平成27年中からの重粒子線治療の開始に向け、平成23年度から行っている施設の実施設設計を年度内に完了し、建築工事に着手する。また、装置製造を引き続き行う。</p>	<p>・平成25年11月の開院に向けて、平成23年度に着手した工事を計画通り進めた。また、PFI事業者であるSPCとの運営に関する協議や医療機器・備品の調達準備等についても、定期的にワーキンググループによる検討を行うとともに、適切な進捗管理により効率良く進めた。</p> <p>・平成27年12月に予定している重粒子線の治療開始に向け、施設の実施設設計を完了し、平成24年12月に建設工事に着手した。また、装置製造を引き続き行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・新病院のSPCによる維持管理・運営業務について詳細な協議を進めた。</p> <p>・新病院の建設工事と重粒子線治療施設の建設工事との間の詳細な調整を行った。</p>	A	A	<p>・がんセンターの総合整備はPFI方式によることだが、公立病院で同方式を採用して失敗した事例もあることから、それらの経験を踏まえた対応を望みたい。</p>																																																									
		<p>【新がんセンター施設概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設概要</th> <th>新病院</th> <th>現病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延床面積</td> <td>51,379.36㎡</td> <td>33,535.06㎡</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>37,425.56㎡</td> <td>18,276.30㎡</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 免震構造 太陽光発電設備を設置</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>415床</td> <td>415床</td> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>12室</td> <td>6室</td> </tr> <tr> <td>I C U</td> <td>6床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>H C U</td> <td>18床</td> <td>6床</td> </tr> <tr> <td>外来診療室</td> <td>56室</td> <td>32室</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法室</td> <td>50床</td> <td>24床</td> </tr> <tr> <td>採血ブース</td> <td>8室</td> <td>5室</td> </tr> <tr> <td>内視鏡室</td> <td>6室</td> <td>4室</td> </tr> <tr> <td>無菌病棟</td> <td>30床</td> <td>20床</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア病棟</td> <td>20床</td> <td>14床</td> </tr> <tr> <td>病室</td> <td>4人部屋</td> <td>6人部屋</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>リニアック 4台</td> <td>リニアック 2台 マイクマトロン 1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>【重粒子線治療施設概要】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>3,009.12㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>6,999.47㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地上2階、地下1階建</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>治療室数</td> <td>4治療室 6治療ポート</td> </tr> </tbody> </table>	施設概要	新病院	現病院	延床面積	51,379.36㎡	33,535.06㎡	敷地面積	37,425.56㎡	18,276.30㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 免震構造 太陽光発電設備を設置	鉄筋コンクリート造	病床数	415床	415床	手術室	12室	6室	I C U	6床	6床	H C U	18床	6床	外来診療室	56室	32室	外来化学療法室	50床	24床	採血ブース	8室	5室	内視鏡室	6室	4室	無菌病棟	30床	20床	緩和ケア病棟	20床	14床	病室	4人部屋	6人部屋	放射線治療	リニアック 4台	リニアック 2台 マイクマトロン 1台	建築面積	3,009.12㎡	延床面積	6,999.47㎡	階数	地上2階、地下1階建	建物構造	鉄筋コンクリート造	治療室数	4治療室 6治療ポート			
施設概要	新病院	現病院																																																													
延床面積	51,379.36㎡	33,535.06㎡																																																													
敷地面積	37,425.56㎡	18,276.30㎡																																																													
建物構造	鉄筋コンクリート造 免震構造 太陽光発電設備を設置	鉄筋コンクリート造																																																													
病床数	415床	415床																																																													
手術室	12室	6室																																																													
I C U	6床	6床																																																													
H C U	18床	6床																																																													
外来診療室	56室	32室																																																													
外来化学療法室	50床	24床																																																													
採血ブース	8室	5室																																																													
内視鏡室	6室	4室																																																													
無菌病棟	30床	20床																																																													
緩和ケア病棟	20床	14床																																																													
病室	4人部屋	6人部屋																																																													
放射線治療	リニアック 4台	リニアック 2台 マイクマトロン 1台																																																													
建築面積	3,009.12㎡																																																														
延床面積	6,999.47㎡																																																														
階数	地上2階、地下1階建																																																														
建物構造	鉄筋コンクリート造																																																														
治療室数	4治療室 6治療ポート																																																														

	<p>・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を、先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより人材育成を図る。</p>	<p>・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、診療放射線技師を、先行して重粒子線治療を行っている施設へ派遣するなどにより人材育成を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・新病院の開棟に向けて、SPCによる維持管理・運営業務について詳細な協議を進めるとともに、移転時の診療制限等の影響を最小限に抑えるため、移転リハーサルの実施や、開院時の人員・業務体制等を検討する必要がある。</p>			
--	--	---	---	--	--	--

小項目 2 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- イ 精神医療センターの総合整備の推進
- 精神医療センターについては、医療観察法等、新たな精神科医療への対応や、建築後約40年経過し老朽化が進んでいること等の課題があることから、
 芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備計画の推進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																
<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(4) 精神医療センター総合整備の推進</p> <p>医療観察法指定入院医療機関としての病棟整備をはじめ、新たな精神科医療への対応を図るため、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備を推進する。</p>	<p>(2) 医療機器・施設整備の推進</p> <p>イ 施設整備の推進</p> <p>(4) 精神医療センター総合整備の推進</p> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟（33床）を平成24年11月に開棟する。</p> <p>・思春期医療など新たな精神科医療へ対応するとともに、施設の老朽化が進み耐震化が求められている精神医療センターの医療環境の改善を図るため、新棟の建築工事に着手する。</p>	<p>【医療観察法病棟】</p> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟を整備し、平成24年11月に開棟した。 医療観察法専門病棟の開棟に伴い、既存の専門病棟2床は一般精神科病棟へ転用した。</p> <p>【医療観察法病棟の概要】</p> <table border="1"> <tr><td>病床数</td><td>33床</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>1,768.15㎡</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>2,998.75㎡</td></tr> <tr><td>建物構造</td><td>鉄筋コンクリート造 2階建</td></tr> </table> <p>【新棟（新病院）】</p> <p>・精神医療センター総合整備計画に基づき、施設の老朽化や新たな精神科医療への対応、さらには芹香病院とせりがや病院の統合による効率的な病院運営を図るため、平成26年度の開棟に向けて、平成24年10月から建設工事を実施した。</p> <p>【新棟の概要】</p> <table border="1"> <tr><td>病床数</td><td>8 病棟290床</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>5,570.52㎡</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>18,462.53㎡</td></tr> <tr><td>建物構造</td><td>鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置</td></tr> </table>	病床数	33床	建築面積	1,768.15㎡	延床面積	2,998.75㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建	病床数	8 病棟290床	建築面積	5,570.52㎡	延床面積	18,462.53㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置	<p>実績に対する評価</p> <p>・医療観察法病棟について着実に整備し、平成24年11月に開棟した。</p> <p>・新棟については平成24年10月に着工し、整備を進めた。</p> <p>課題</p> <p>平成26年度の開棟に向けて、着実に工事を進めるとともに、思春期病棟をはじめとした新たな精神科医療への対応や病院統合による人員体制、収支計画など円滑な運営方法等について検討を進めていく。</p>	A	A	
病床数	33床																					
建築面積	1,768.15㎡																					
延床面積	2,998.75㎡																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建																					
病床数	8 病棟290床																					
建築面積	5,570.52㎡																					
延床面積	18,462.53㎡																					
建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置																					

小項目 2 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
- (2) 医療機器・施設整備の推進

中期
目標

(2) 医療機器・施設整備の推進

医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 ウ その他の施設整備の推進</p> <p>老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、担うべき診療機能にふさわしい整備を進める。</p>	<p>(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 ウ その他の施設整備の推進</p> <p>こども医療センターにおいて、小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保、及び災害時の医療機能維持を目的に、医師宿舎の改修及び医療従事者宿舎を建設する。 また、災害発生時に病院機能を確保、維持するため自家発電装置の更新を行う。</p>	<p>・こども医療センターにおいて、医療スタッフの確保及び災害時の医療機能維持を目的に、平成23年度に着工した医師宿舎の改修及び医療従事者宿舎の建設工事は、それぞれ平成24年6月と9月に完成した。</p> <p>・こども医療センターにおいて、災害発生時に手術室や新生児集中治療室機能を確保、維持するための周産期棟自家発電装置の更新工事が平成24年7月に完成した。</p>	実績に対する評価	A	A	
			課題			
						老朽化の状況や求められる機能を踏まえるとともに、災害時の病院機能の確保、維持のため、引き続き施設整備を推進していく必要がある。

小項目 2 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (3) 地域医療連携の強化

中期
目標

- (3) 地域医療連携の強化
地域の医療機関と適切な役割分担に基づく連携を図り、県全体として効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																								
<p>(3) 地域医療連携の強化 県全体に効率的な医療を提供するため、高度・専門医療を提供する医療機関として紹介・逆紹介を推進するとともに、地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <p>(参考) 紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>4,528件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>6,772件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>397件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>240件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>4,838件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,613件</td></tr> </tbody> </table> <p>(参考) 逆紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>3,606件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>3,450件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>357件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>200件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>1,586件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,318件</td></tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,586件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>(3) 地域医療連携の強化 ・各病院において、紹介・逆紹介の推進や地域連携クリティカルパスの取組を引き続き行う。</p> <p>(参考) 紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>4,531件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>7,325件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>335件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>260件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>5,195件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,822件</td></tr> </tbody> </table> <p>(参考) 逆紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>3,610件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>4,061件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>352件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>211件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>1,746件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,279件</td></tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	足柄上病院	4,531件	こども医療センター	7,325件	芹香病院	335件	せりがや病院	260件	がんセンター	5,195件	循環器呼吸器病センター	3,822件	病院名	平成22年度	足柄上病院	3,610件	こども医療センター	4,061件	芹香病院	352件	せりがや病院	211件	がんセンター	1,746件	循環器呼吸器病センター	3,279件	<p>・それぞれの地域や病院の特性を踏まえた、地域医療機関等との連携の強化に取り組み、紹介・逆紹介の件数の増加に努めた。</p> <p>・神奈川県立病院地域医療連携連絡会議を4回開催し、病院間における連携の検討や情報交換等を行った。</p> <p>[紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>4,580件</td><td>4,755件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>7,642件</td><td>7,860件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>297件</td><td>322件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>242件</td><td>285件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>5,139件</td><td>5,478件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,536件</td><td>3,378件</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,436件</td><td>22,078件</td></tr> </tbody> </table> <p>[逆紹介件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>3,703件</td><td>3,599件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>4,325件</td><td>4,880件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>481件</td><td>351件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>220件</td><td>244件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>1,518件</td><td>1,508件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,730件</td><td>4,244件</td></tr> <tr><td>計</td><td>13,977件</td><td>14,826件</td></tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院] ・足柄上病院は急性期治療を、地域医療機関はリハビリテーション等の回復期治療を担う連携を進めるとともに、平成24年度は鶴巻温泉病院など3医療機関と「脳卒中地域連携パス」を16件運用した。</p> <p>・足柄上医師会と紹介患者の症例検討会（足柄上臨床研究会）の定期開催、地域医療機関、福祉施設等へ訪問による意見交換を実施し、連携・協力を努めた。</p> <p>・高度医療機器の共同利用 C T 288件 MR I 67件 計355件</p>	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	4,580件	4,755件	こども医療センター	7,642件	7,860件	芹香病院	297件	322件	せりがや病院	242件	285件	がんセンター	5,139件	5,478件	循環器呼吸器病センター	3,536件	3,378件	計	21,436件	22,078件	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	3,703件	3,599件	こども医療センター	4,325件	4,880件	芹香病院	481件	351件	せりがや病院	220件	244件	がんセンター	1,518件	1,508件	循環器呼吸器病センター	3,730件	4,244件	計	13,977件	14,826件	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>・紹介・逆紹介については、来院患者に対する割合等を目標値とすることについて検討していただきたい。</p>
病院名	平成20年度																																																																																																												
足柄上病院	4,528件																																																																																																												
こども医療センター	6,772件																																																																																																												
芹香病院	397件																																																																																																												
せりがや病院	240件																																																																																																												
がんセンター	4,838件																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																												
病院名	平成20年度																																																																																																												
足柄上病院	3,606件																																																																																																												
こども医療センター	3,450件																																																																																																												
芹香病院	357件																																																																																																												
せりがや病院	200件																																																																																																												
がんセンター	1,586件																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																												
病院名	平成22年度																																																																																																												
足柄上病院	4,531件																																																																																																												
こども医療センター	7,325件																																																																																																												
芹香病院	335件																																																																																																												
せりがや病院	260件																																																																																																												
がんセンター	5,195件																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	3,822件																																																																																																												
病院名	平成22年度																																																																																																												
足柄上病院	3,610件																																																																																																												
こども医療センター	4,061件																																																																																																												
芹香病院	352件																																																																																																												
せりがや病院	211件																																																																																																												
がんセンター	1,746件																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	3,279件																																																																																																												
病院名	平成23年度	平成24年度																																																																																																											
足柄上病院	4,580件	4,755件																																																																																																											
こども医療センター	7,642件	7,860件																																																																																																											
芹香病院	297件	322件																																																																																																											
せりがや病院	242件	285件																																																																																																											
がんセンター	5,139件	5,478件																																																																																																											
循環器呼吸器病センター	3,536件	3,378件																																																																																																											
計	21,436件	22,078件																																																																																																											
病院名	平成23年度	平成24年度																																																																																																											
足柄上病院	3,703件	3,599件																																																																																																											
こども医療センター	4,325件	4,880件																																																																																																											
芹香病院	481件	351件																																																																																																											
せりがや病院	220件	244件																																																																																																											
がんセンター	1,518件	1,508件																																																																																																											
循環器呼吸器病センター	3,730件	4,244件																																																																																																											
計	13,977件	14,826件																																																																																																											

・神奈川県立病院地域医療連携会議において、県立病院間における地域連携に係る課題抽出及び連携方策の検討を行うとともに、他医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組む。また、地域医療連携における他医療機関の需要を把握し、その支援を検討していく。

[こども医療センター]

・こども医療センターに対し複数回の紹介実績のある県内の医療機関を対象に、地域医療連携登録を働きかけたところ、平成23年度の207機関から164機関増の371機関となった。

・地域医療支援事業運営委員会を年2回開催したほか、こども医療センターに紹介実績のある医療機関に対しアンケートを実施し、地域医療機関のニーズの把握に努めた。

・平成24年10月から退院調整専従の看護師を配置し、多職種連携のもと退院支援カンファレンスを推進した結果、退院支援計画策定件数が月平均5.8件から月平均25件へ急増した。また、地域医療機関との退院前共同カンファレンスも積極的に推進し、退院調整加算の算定件数が一月あたり15.3件から26.8件へ急増した。

・小児の訪問看護の経験の少ない訪問看護ステーションの不安軽減のため、訪問看護ステーションの看護師の初回訪問時に同行する退院後訪問を1月から開始し、8回実施した。また、訪問看護ステーション向け医療ケア実技研修会を5回実施した等の取組みを通じ、小児の受入が可能な県内の訪問看護ステーションが平成23年度の107機関から3機関増の110機関となった。

[芹香病院]

・精神科救急医療システムの構成団体（県、横浜市、川崎市、相模原市）と連携し、精神科救急の受入を推進した。

・かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議(年4回)を主宰し、県内の医療観察法の指定医療機関、保護観察所、社会福祉施設等との連携を図った。

・退院促進や地域生活支援のため、地域の保健所や社会福祉施設等とケア会議を実施した。

[せりがや病院]

・保健所等の行政機関との連携協議を実施した。

・薬物乱用防止教室など学生を対象とした普及啓発を行った。

[がんセンター]

・5大がん共通地域連携バスの取組みについて、内容を現況に合わせた見直しを開始した。

・地域連携バスを活用する施設に対し、診療報酬算定に必要な届出等の指導を実施し、算定方法などの周知方法を検討した。

課題

・地域の中核医療機関及び高度・専門医療を提供する医療機関として、地域連携クリティカルパスの充実を図り、引き続き紹介・逆紹介を推進していく。

・地域医療及び県民により効率的な医療を提供するため、各県立病院の特性を踏まえつつ、地域医療機関の連携方策について検討を行う。

		<p>[循環器呼吸器病センター] ・循環器・呼吸器の専門病院として有する知見・資源・経験を活用し、地域の医療従事者との相互研さんや情報の共有化を図るとともに、地域医療水準の向上に貢献した。</p> <p>(内容) 地域医療支援事業運営委員会 (年2回) 金沢区内結核等感染症に関する医療機関等連絡会 症例検討会 レントゲン撮影の出張訪問の実施 高度医療機器の共同利用 (依頼検査の実施) C T 489件、MR I 257件、R I 6件 計752件</p>				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 2 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
(4) 臨床研究の推進 ア 臨床研究 (7) がんセンター ・臨床研究所を有するがんセンターについては、研究部門（臨床研究所）と病院部門が連携し、がん医療の分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。 ・神奈川県がん登録事業を継続実施し、協力病院の院内がん登録の整備を進め、登録情報の精度の充実を図る。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成21年度）47,835件 ・神奈川がん臨床研究・情報機構の運営を通じて、大学等の研究機関及び企業との共同研究等に取り組み、県内の医療水準の向上を図る。	(4) 臨床研究の推進 ア 臨床研究 (7) がんセンター ・臨床研究所研究員とがんセンター臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等とがんの早期発見、治療等についての共同研究を行う。その研究成果については、年度ごとの業績集の発行や成果報告会を開催して報告を行うとともに、英文原著論文や学会発表を行う。 ・病院内の対がん活動の状況を把握し、がんの早期発見と治療、予後の向上に役立てることにより、地域レベル、国レベルのがん対策や全国登録などの共同研究への参加を容易にして、研究・研修にも役立てるため、協力病院の院内がん登録の整備を進める。 （参考）神奈川県がん登録事業の登録件数実績（平成22年度）57,762件 ・神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。 【神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>506件</td> <td>540件</td> </tr> </table>	平成22年度実績	平成24年度目標値	506件	540件	・臨床研究所研究員とがんセンター臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等とがんの早期発見、治療等についての共同研究を行い、その研究成果を業績集の発行や成果報告会により報告を行うとともに、英文原著論文や学会発表を行った。 [平成24年度論文実績] 170件（邦文58件、英文112件） うち臨床研究所44件（邦文5件、英文39件） [平成24年度共同研究実績]（臨床研究所） 31件（がんセンター内10件、院外21件） [平成24年度学会発表] 国内28件、講演6件、国外8件 ・神奈川県のがんの罹患数及び罹患率を調査するため、神奈川県悪性新生物登録事業として県内医療機関の理解と協力を得て地域がん登録を進めた。 【神奈川県がん登録事業の登録件数実績】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>70,893件</td> <td>70,161件</td> </tr> </table> ・産学公の連携により、がんの臨床研究を促進し、適切ながん情報を患者に提供する神奈川がん臨床研究・情報機構において貴重な研究試料としての腫瘍組織の収集を行った。 【腫瘍組織収集の実績】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> <tr> <td>648件</td> <td>650件</td> </tr> </table> ・厚生労働省認定の高度医療技術として「術後補助化学療法に関する臨床試験」に参画するなど、臨床試験に積極的に取り組んだ。	平成23年度	平成24年度	70,893件	70,161件	平成23年度	平成24年度	648件	650件	実績に対する評価 平成24年度の臨床研究所の論文実績は44件であり、平成23年度の45件とほぼ同数の高い水準であった。	A	A	
		平成22年度実績	平成24年度目標値															
506件	540件																	
平成23年度	平成24年度																	
70,893件	70,161件																	
平成23年度	平成24年度																	
648件	650件																	
			課題 ・数多くの研究を実施していくためには、研究者を補佐する技師、研究補助者を確保する必要がある。 ・治療効果を上げ、生存率を改善する目的で術前化学療法等が導入されており、有効な研究試料数が減少する傾向にある中において、貴重な試料の収集の確保を図る。															

小項目 25 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>(イ) その他の病院における臨床研究の推進</p> <p>各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。</p>	<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>(イ) その他の病院における臨床研究の推進</p> <p>・ ども医療センターは、高い資質を持つ人材を任期付き研究員として採用し、疫学調査や疾患データベースの作成等、小児治験実施医療機関としての実績の向上を目指し、特殊検査機器の導入により高度な臨床研究体制を整備する。また、横浜市立大学との間で相互交流を行い、横浜市立大学と連携しども医療センターの豊富な臨床症例を研究活動に生かすことで小児医療の質の向上を図る。</p> <p>・ 精神医療センターは、反復性経頭蓋磁気刺激法（r TMS）や鍼灸の精神科医療への応用、物質依存に対する認知行動療法プログラムの研究に取り組む。</p> <p>・ 循環器呼吸器病センターは、まだ治療法が確立していない間質性肺炎について多くの症例を有していることから、その治療法の確立に向け、今まで蓄積してきた症例を活用するとともに、全国の病院と連携して病態解明に向けた研究に取り組む。</p>	<p>各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・ 胆嚢の内ヘルニア症例に関する論文「Gallbladder herniation into the lesser sac through the foramen of Winslow:report of a case」(外科学会誌)などの論文を学会誌に掲載した。</p> <p>また、国際外傷学会において「EFFICACY OF THE EMERGENCY COMA SCALE FOR SEVERE HEAD INJURY」(重症頭部外傷の緊急評価の効果)の発表等を行った。</p> <p>[ども医療センター]</p> <p>・ 4月からゲノム解析研究部門に2名、病態機能解析研究部門に1名の研究員を配置し、国内最多のマイクロアレイ染色体検査を実施したほか、次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析研究、再生医療研究など様々な研究を実施した。</p> <p>・ 横浜市立大学との連携大学院協定に基づき、ども医療センターの医師5名が横浜市立大学大学院の客員教授として研究活動を行うなど、臨床研究の推進に取り組んだ。</p> <p>・ 臨床研究を推進するにあたり、文部科学大臣から「科学研究費補助金取扱規程第2条第1項第4号に規定する研究機関」に指定された。</p>	<p>各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組んだ。</p>	A	A	

		<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューロモデュレーション研究、依存症研究、東洋医学研究等の臨床研究の充実に努めた。 ・「鍼灸介入前後に自律神経機能と不安抑うつ状態への影響に関する研究」等、論文や学会発表を行った。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺炎について、国内外の臨床試験に参加したほか、肺癌分野では厚生労働省認定の高度医療技術として「術後補助化学療法に関する臨床試験」に参画するなど、各診療科において臨床研究、臨床試験に積極的に取り組んだ。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き、医療水準の向上に寄与するため、臨床研究の取組を行っていく必要がある。</p>			
--	--	--	---	--	--	--

小項目 26 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期
目標

- (4) 臨床研究の推進
高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント															
<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>イ 治験</p> <p>(7) こども医療センター</p> <p>厚生労働省から指定された治験拠点医療機関として、他の医療機関と連携して、小児医療の治験に積極的に取り組む。</p>	<p>(4) 臨床研究の推進</p> <p>イ 治験</p> <p>(7) こども医療センター</p> <p>・小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組む。</p> <p>・新たに導入する治験管理システムを活用し、効率化を図りつつ、治験を含む受託研究の拡大を推進する。</p>	<p>・平成24年度の治験受託件数は22件で、うち希少疾病用の治験受託件数は2件、国際共同治験は4件であった。なお、希少疾病用医薬品の治験は2件とも平成24年度中に終了し、上梓された。</p> <p>・国内30施設が登録する小児治験ネットワークを通じ他の医療機関と連携した治験契約を2件締結した。また、小児治験ネットワーク登録施設間の情報共有、TV会議システムを利用した情報交換（独立行政法人国立成育医療センター他3機関）を行うこと等により、小児治験の質の向上と効率化に尽力した。</p> <p>・治験管理システムの導入に伴い、治験契約ごとの進捗管理の効率化が図られた。</p> <p>(参考)[治験受託件数及び症例数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験受託件数</td> <td>17件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>うち希少疾病用医薬品の治験契約</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>うち国際共同治験</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>治験契約症例数</td> <td>42人</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	治験受託件数	17件	22件	うち希少疾病用医薬品の治験契約	2件	2件	うち国際共同治験	3件	4件	治験契約症例数	42人	52人	<p>実績に対する評価</p> <p>平成23年度と比較して治験受託件数、症例数ともに増加しており、小児領域における難病の治験にあつては全国でも屈指の実績を挙げている。</p> <p>また、希少疾病用医薬品の治験を2件実施し、平成24年度中に上梓されたことで、小児の希少疾病患者の治療に大きく貢献した。 (参考 平成25年5月現在 全国で実施されている希少疾病用医薬品の治験は10件である。)</p> <p>課題</p> <p>小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験受託件数の増加に向けて、治験管理室を中心とした事務機能の強化など治験実施体制の充実が必要である。</p>	S	S	<p>・こども医療センターにおける治験の取組みは高く評価できる。</p>
区分	平成23年度	平成24年度																			
治験受託件数	17件	22件																			
うち希少疾病用医薬品の治験契約	2件	2件																			
うち国際共同治験	3件	4件																			
治験契約症例数	42人	52人																			

小項目 27 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																														
			自己点数	評価点数	コメント																																																																														
<p>(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における治験の推進</p> <p>新薬の開発等に貢献し、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。</p> <p>(参考) 治験実施状況 (平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>8件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>13件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>28件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>22件</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	8件	14件	こども医療センター	13件	60件	芹香病院	1件	0件	がんセンター	28件	47件	循環器呼吸器病センター	22件	38件	<p>(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における治験の推進</p> <p>各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。</p> <p>(参考) 治験実施状況 (平成22年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>15件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>9件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>37件</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>28件</td> <td>46件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	44件	こども医療センター	15件	64件	芹香病院	9件	0件	がんセンター	37件	46件	循環器呼吸器病センター	28件	46件	<p>・各病院の特性及び機能を生かした治験を推進し、治験受託件数の増加に努めた。</p> <p>・各病院において、基本理念であるヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び医薬品の臨床試験の実施基準 (GCP) 等に基づき、治験担当医師、治験依頼者、院内各部門とも連携を図り、円滑で質の高い医薬品等の治験及び臨床研究を推進した。</p> <p>[治験実施状況 (平成24年度実績)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>8件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>47件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>29件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>118件</td> <td>199件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[治験実施状況 (平成23年度実績)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>17件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>8件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>43件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>30件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>110件</td> <td>195件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院] ・抗がん剤や肺高血圧症治療薬などの医薬品について治験や受託研究に取り組んだ。</p> <p>[芹香病院] ・統合失調症患者及びうつ患者を対象とした投与試験を実施した。</p>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	40件	こども医療センター	22件	62件	芹香病院	8件	0件	がんセンター	47件	58件	循環器呼吸器病センター	29件	39件	計	118件	199件	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	12件	42件	こども医療センター	17件	63件	芹香病院	8件	0件	がんセンター	43件	50件	循環器呼吸器病センター	30件	40件	計	110件	195件	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院が治験受託件数の増加に向けて積極的に取り組み、治療の効果及び安全性を高める医療の質の向上に寄与することができた。</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>課題</p> <p>引き続き、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かし、新薬等の開発に向けた治験を推進する。</p>
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																																	
足柄上病院	8件	14件																																																																																	
こども医療センター	13件	60件																																																																																	
芹香病院	1件	0件																																																																																	
がんセンター	28件	47件																																																																																	
循環器呼吸器病センター	22件	38件																																																																																	
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																																	
足柄上病院	12件	44件																																																																																	
こども医療センター	15件	64件																																																																																	
芹香病院	9件	0件																																																																																	
がんセンター	37件	46件																																																																																	
循環器呼吸器病センター	28件	46件																																																																																	
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																																	
足柄上病院	12件	40件																																																																																	
こども医療センター	22件	62件																																																																																	
芹香病院	8件	0件																																																																																	
がんセンター	47件	58件																																																																																	
循環器呼吸器病センター	29件	39件																																																																																	
計	118件	199件																																																																																	
病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																																	
足柄上病院	12件	42件																																																																																	
こども医療センター	17件	63件																																																																																	
芹香病院	8件	0件																																																																																	
がんセンター	43件	50件																																																																																	
循環器呼吸器病センター	30件	40件																																																																																	
計	110件	195件																																																																																	

		<p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 治験の領域別では乳がん10件、膵がん7件、肝細胞がん6件、肺がん6件など計47件を実施し、症例数では延べ299件の実績となった。また平成24年度からホームページに実施中の治験を掲載し、治験を要望する患者及び治験依頼者の医療機関選定に対して情報提供を行った。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 循環器、呼吸器の専門病院として最先端の治療の提供や高い効果の治療法を開発するため、抗がん剤をはじめとして様々な医薬品の治験や医療機器の受託研究に取り組んだ。				
--	--	--	--	--	--	--

小項目 28 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

2 安全で安心な医療の提供

(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

中期
目標

2 安全で安心な医療の提供

患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、看護体制を整備するとともに、医療安全対策や感染症対策、災害対策等を推進すること。

(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

県立病院が担う安全で安心な医療を支えるため、医療体制を整備するとともに、各病院の基本的な機能を踏まえた手厚い看護の実施に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>看護体制の整備、医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・安全で安心な医療を支えるため、こども医療センターにおいて感染制御室を設置する等、医療体制を整備するとともに、医療機器の整備を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p>	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <p>・褥瘡発生防止体制の整備及び症例検討を通じた褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組むなど、各県立病院の特性及び機能を生かした褥瘡防止に関する取組を推進する。</p> <p>・がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制取得に向けて、採用試験実施回数拡大や県外試験の実施等により、看護師確保を図る。</p>	<p>【褥瘡防止に関する取組の推進】</p> <p>・全病院に褥瘡患者の治療並びに褥瘡防止対策の実施及びその評価を行う体制があり、足柄上病院、こども医療センター及びがんセンターにおいては、診療報酬「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」の施設基準を満たしている。</p> <p>・各病院の褥瘡発生防止の取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・褥瘡リクナーズ会議を毎月開催し、褥瘡リスクの保有、発生状況の分析等を行い、早期治癒に向けた検討を行うとともに、褥瘡対策会議を開催した。</p> <p>・入院時から褥瘡患者発生防止のためのマットを使用するなどの取組を実施した。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・専従の褥瘡管理者を配置し、褥瘡診療部会及び診療ケア部会を毎月1回開催した。</p> <p>・褥瘡の重点対策を「牽引対策」「非侵襲的陽圧マスク対策」及び「弾性ストッキング対策」等として、医師、看護師その他医療従事者が連携し、褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組んだ。また、褥瘡発生予防具の評価を行い、体圧分散マットレスを活用した褥瘡防止の取組を推進した。</p> <p>・褥瘡管理者が他病院の褥瘡対策会議に出席し、褥瘡ケア指導を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・医師、看護師その他医療従事者が各病院の特性を踏まえた協働で褥瘡の発生予防・管理に取り組み、安全で安心な医療の向上に寄与した。</p> <p>・がんセンターにおいて7対1看護体制を整えた。</p>	A	A	<p>・褥瘡防止について、院内での研修会等だけでなく、院外の地域の老健施設や一般病院に対して県立病院の先進的な取組みを情報発信することについても検討していただきたい。</p>

課題

- ・在宅時の褥瘡発生防止について訪問看護ステーションを対象に講習会を開催する等、地域と連携した取組を進めていく必要がある。

- ・循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の整備について、患者数動態を踏まえて検討する必要がある。

[芹香病院]

- ・他の病院の皮膚・排泄ケア認定看護師に褥瘡ケア・褥瘡対策会議のコンサルテーション・勉強会を依頼するとともにケア用品を導入し、褥瘡の治癒、改善に繋げた。

[せりがや病院]

- ・褥瘡対策部会、会議において褥瘡の発生状況の確認を行い、より効果的な褥瘡発生予防対策について検討し、実施した。

[がんセンター]

- ・褥瘡管理者を中心に褥瘡対策チームによる褥瘡の予防ケアに取り組み、全ての入院患者に褥瘡発生予防対策を講じた。

[循環器呼吸器病センター]

- ・褥瘡ラウンドを毎月実施し、患者に対するケアを確認したほか、医療安全及び感染防止対策の一環として開催した「安全フォーラム」の中で、褥瘡についての予防ケアの展示を行うなど、職員の技術向上を図った。

[褥瘡患者発生率（平成24年度実績）]

病院名	分子		測定値
	新規褥瘡発生患者数（新規褥瘡発生件数※）	入院患者数（延べ入院患者数※）	
足柄上病院	61件	6,384人	0.96%
こども医療センター	122件	126,949人	0.10%
芹香病院	8件	2,887人	0.28%
せりがや病院	0件	426人	0.00%
がんセンター	114件	11,905人	0.96%
循環器呼吸器病センター	37件	4,322人	0.86%

※こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数

【7対1看護体制の取得に向けての取組】

看護師確保対策の一つとして、病院のタイムリーな情報を全国的に広く提供し、採用活動へと繋げていくことを目的として平成24年12月からフェイスブックの運用を開始した。

小項目 29 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (2) 医療安全対策の推進

中期目標

医療事故を未然に防止し、患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																			
<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>医療事故対応マニュアルの充実、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>各病院における医療安全体制をより一層充実させるため、医療安全推進室を病院機構の組織規程上の組織に位置付けるとともに、医療安全管理者会議等を活用し、各病院で発生した医療事故の発生原因や対策を共有化することにより、安全・安心な医療の実現に努める。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数 (平成22年度実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>発生件数</th> <th>区分集計</th> <th>総発生件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">インシデント</td> <td>0</td> <td>894件</td> <td rowspan="5">6,699件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5,077件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アクシデント</td> <td>2</td> <td>655件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1件</td> <td>728件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	発生件数	区分集計	総発生件数	インシデント	0	894件	6,699件	1	5,077件	アクシデント	2	655件	3	72件	4	0件	5	1件	728件	<p>・ヒヤリ・ハット事例、医療事故の総数が前年比増加したが、患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた事例（レベル4）や、患者が死亡する事例（レベル5）については、2年連続で発生は無かった。</p> <p>(参考) ヒヤリ・ハット事例、医療事故レベル別の件数 (全病院集計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ヒヤリ・ハット事例</td> <td>0</td> <td>1,150件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5,611件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>810件</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">医療事故</td> <td>3a</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>3b</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,693件</td> <td>7,958件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療安全対策ワーキンググループを5回開催（5月、7月、10月、1月、2月）し、各県立病院の医療事故等の再発防止策を共有し医療安全対策の標準化に取り組んだ。</p> <p>・患者と医療従事者の対話促進、関係構築を支援し、医療に関する苦情等に円滑に対応するため、メディエーション研修を実施した。 <日程>10月4日、5日（2日間） <受講者> 30人（医師3人、看護師9人、医療相談担当（福祉職等）9人、事務9人） <研修の内容> 実際に病院現場で起きた事例等をロールプレイング形式で実践</p>	区分	平成23年度実績	平成24年度実績	ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1	5,611件	2	810件	医療事故	3a	100件	3b	22件	4	0件	5	0件	合計	7,693件	7,958件	<p>実績に対する評価</p> <p>・県立病院全体として、医療安全推進会議や医療安全対策ワーキンググループにおいて、総合的な医療安全対策に取り組んだ結果、医療事故を未然に防止するとともに、ヒヤリ・ハット事例の報告等、職員の医療安全に対する意識の向上を図った。</p> <p>・メディエーション研修を実施し、医療に関する紛争解決に向けて新たな取組みを推進した。</p>	A	A	<p>・ヒヤリ・ハット事例のうち特に0、1レベルについては件数増加は安全意識向上の裏返しとも言えるので、この部分は件数を減らすことに主眼をおかず、むしろ積極的に報告が集まる環境を保っていただきたい。</p>
区分	平成20年度																																																							
インシデント	6,574件																																																							
アクシデント	773件																																																							
計	7,347件																																																							
区分	発生件数	区分集計	総発生件数																																																					
インシデント	0	894件	6,699件																																																					
	1	5,077件																																																						
アクシデント	2	655件																																																						
	3	72件																																																						
	4	0件																																																						
5	1件	728件																																																						
区分	平成23年度実績	平成24年度実績																																																						
ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件																																																						
	1	5,611件																																																						
	2	810件																																																						
医療事故	3a	100件																																																						
	3b	22件																																																						
	4	0件																																																						
	5	0件																																																						
合計	7,693件	7,958件																																																						

・医療安全対策のより一層の強化を図るため、「医療安全会議」や「医療安全に関する研修」等発生防止のための取組を実施した。

病院名	医療安全会議	リスクマネージャー会議	医療安全に関する研修※
	回数	回数	参加者数
足柄上病院	12回	12回	1,853人
こども医療センター	12回	6回	2,405人
芹香病院	12回	11回	702人
せりがや病院	11回	11回	181人
がんセンター	12回	12回	1,366人
循環器呼吸器病センター	16回	11回	863人
合計	75回	63回	7,370人

※院内研修のみ

・各病院が行った医療安全対策に関する主な取組は次のとおりである。

[足柄上病院]

・注射薬を配合するにあたり、安全性をより高めるため、「注射薬配合変化注意一覧」を作成するとともに、処方箋に注射薬配合変化についての注意喚起コメントを記載した。

・外来の内視鏡検査において患者誤認防止対策を強化するため、患者にネームホルダーや、リストバンドを使用することを徹底した。

[こども医療センター]

・ファシリティドッグの導入に伴い、アレルギー問診表の内容を改正し、動物アレルギーについての項目を追加するとともに、アレルギー関連事故を防止するため、患者のアレルギー情報を電子カルテで共有することとし、取扱い方法をマニュアルに定めた。

・薬剤等の誤投与を防止するため、注射薬と調乳に関してバーコードを用いた患者認証システムを使用することを定めた。

[芹香病院]

・与薬関連の事故を防止するため、与薬時に5R（患者氏名・薬剤名・投与量・投与日時・投与方法）の確認を行うことをマニュアルに定めた。

・事故防止啓発のため、職員から標語を募集し、ポスターを作成するなど院内に周知した。

[せりがや病院]

・ロールプレイ形式による危険予知トレーニングの研修会を実施した。

		<p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者誤認防止対策を強化するため、外来化学療法治療室に患者誤認防止用のリストバンドを導入し、リストバンドのバーコードを用いた患者認証システムを使用することを定めた。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者に投与する薬剤を与薬カートにセットする際に、作業中断による間違いを防止するため、作業中断カードの運用方法を定めるとともに、与薬セット間違いを防止するため、与薬セット方法を院内で統一し、マニュアルを定めた。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、医療事故を未然に防止するため、医療安全推進会議で事例・発生原因を分析するなど、県立病院全体として、総合的な医療安全対策に取り組む必要がある。 医療安全対策の質を向上するため、患者と医療従事者の対話を促進し、医療に関する苦情等に円滑に対応できるような県立病院としての体制を検討する必要がある。 		
--	--	---	--	--	--

小項目 30 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (3) 感染症対策の強化

中期目標

院内感染防止対策を強化するとともに、感染管理体制を充実することにより、感染症に関する取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																													
(3) 感染症対策の強化 ・院内感染防止対策を強化するため、感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直しに取り組む。 ・新型インフルエンザ等の診療・治療を行うため、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。	(3) 感染症対策の強化 ・感染防止会議の開催による対策の徹底、院内感染防止マニュアルの見直し等の取組を引き続き行う。 ・小児感染症、医療関連感染(B S I、S S I等)の発生状況を把握し、発生予防と拡大防止のための院内感染防止対策を強化する。 ・院内感染防止対策の強化を図るため、他の医療機関と連携した感染防止対策に関するカンファレンスを開催、参加するなどの取組を推進する。 ・新興感染症、新型インフルエンザ等の患者受入れに当たって、こども医療センターでは小児に特化した診療・治療を行う等、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。	・県立病院における感染防止対策の推進を図るため、平成24年10月に県立病院の感染管理者を構成員とする神奈川県立病院感染防止対策会議を設置し、4回開催した。 同会議において、各病院の感染防止対策に係る課題を集約し、感染防止マニュアルを共有した。 また、各病院同士の相互に感染防止対策に関する評価を実施したほか、新型インフルエンザの発生状況等について、専用のホームページによる会議委員間のタイムリーな情報交換を行うなど、県立病院間の連携を推進した。 ・院内感染を防止するため、各病院において感染防止会議や研修会の開催、さらに感染対策マニュアル等の見直しを行った。	実績に対する評価		A	A																																												
			・県立病院感染防止対策会議により、各病院の感染防止対策にかかる課題、マニュアル等の情報共有を行うなど、県立病院間の連携を推進したことにより、県立病院としての新たな感染防止対策の実施に向けて共通の目標を定め、感染防止対策に関する質を向上するための体制を整備した。 ・感染防止会議や研修会の開催、感染防止マニュアル等の見直しなどの院内感染防止対策を強化した。 ・小児感染症、医療関連感染の発生状況の把握に努めるとともに、発生予防と拡大防止のための院内防止対策を強化した。 ・他の医療機関と連携した感染防止対策に関するカンファレンスの実施等に取り組んだ。	〔院内感染防止会議の開催実績〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>11回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>12回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>12回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71回</td> <td>77回</td> </tr> </tbody> </table> 〔感染症防止院内研修の開催実績〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>10回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>19回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>15回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57回</td> <td>56回</td> </tr> </tbody> </table>			病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	12回	12回	こども医療センター	11回	12回	芹香病院	12回	12回	せりがや病院	12回	11回	がんセンター	12回	14回	循環器呼吸器病センター	12回	16回	計	71回	77回	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	10回	14回	こども医療センター	7回	7回	芹香病院	3回	3回	せりがや病院	3回	3回	がんセンター	19回	13回	循環器呼吸器病センター	15回
病院名	平成23年度	平成24年度																																																
足柄上病院	12回	12回																																																
こども医療センター	11回	12回																																																
芹香病院	12回	12回																																																
せりがや病院	12回	11回																																																
がんセンター	12回	14回																																																
循環器呼吸器病センター	12回	16回																																																
計	71回	77回																																																
病院名	平成23年度	平成24年度																																																
足柄上病院	10回	14回																																																
こども医療センター	7回	7回																																																
芹香病院	3回	3回																																																
せりがや病院	3回	3回																																																
がんセンター	19回	13回																																																
循環器呼吸器病センター	15回	16回																																																
計	57回	56回																																																

		<p>・各病院が実施した院内感染防止対策の主な取組は、次のとおりである。</p> <p>○小児感染症、医療関連感染（BSI・SSI等）を把握し、院内ラウンドや抗菌剤の適正使用などの対策を実施（こども医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター）</p> <p>○他の医療機関と連携した合同カンファレンスを実施し、手指衛生サーベイランスなどの取組の推進（足柄上病院・こども医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター）</p> <p>○県立病院間による相互評価ラウンドの実施による感染防止対策の取組の強化（足柄上病院・こども医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター）</p> <p>○新生児病棟のMRSA対策の一環として、ハンドケアの実施による手指衛生の強化（こども医療センター）</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1350 108 1682 268"></td> <td data-bbox="1350 268 1682 300" style="text-align: center;">課題</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1350 300 1682 903"> <p>・県立病院全体の感染防止対策の更なる質の向上を図るために、標準的なマニュアルの作成など、新たな感染防止対策を実施する必要がある。</p> </td> </tr> </table>		課題	<p>・県立病院全体の感染防止対策の更なる質の向上を図るために、標準的なマニュアルの作成など、新たな感染防止対策を実施する必要がある。</p>				
	課題									
<p>・県立病院全体の感染防止対策の更なる質の向上を図るために、標準的なマニュアルの作成など、新たな感染防止対策を実施する必要がある。</p>										

小項目 3 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (4) 災害対策の推進

中期目標

災害発生等における災害医療拠点病院及び地域における災害時医療を担う病院としての役割を果たすこと。
また、災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。また、大規模災害発生時に病院機能を確保、維持するため、建物の耐震化整備に努める。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時には、神奈川県地域防災計画の個別計画である神奈川県医療救護計画に基づき、県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。特に、災害医療拠点病院である足柄上病院は、災害時の患者の受入れ等、県西地域医療圏における災害医療救護の中心的役割を担う。</p>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・各病院で、災害発生時等に病院機能を確保、維持できるよう医薬品・災害用医療資材等の備蓄するとともに、施設の点検及び更新、定期的に防災訓練等を実施する。</p> <p>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,316人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がんセンター及び精神医療センターの新病院の開棟・診療開始に向けて、免震構造による建物の建築工事を進める。</p> <p>・災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班の編成、被災地等への派遣を実施する。</p> <p>・足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時に患者の受入れ等を行う。</p>	区分	平成22年度	防災訓練実施回数	12回	防災訓練参加者数	2,316人	<p>・災害発生時に病院機能を確保、維持するための医薬品・災害用医療資材等の備蓄するとともに、自家用発電装置の更新等を行い、施設の点検及び防災訓練等を実施した。</p> <table border="1"> <caption>防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>1,649人</td> <td>1,537人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【DMATの指定について】</p> <p>・足柄上病院は、県西地域の災害医療拠点病院として、平成25年2月に「神奈川県DMAT指定病院」の指定を受け、災害の急性期（災害発生から48時間以内）に活動できる機動性を持つDMATを設置し、より広域的な災害に迅速かつ的確な医療を提供する災害時医療体制の整備に取り組んだ。</p> <p>【自家用発電装置の更新について】</p> <p>・こども医療センターにおいて、災害発生時に手術室や新生児集中治療室機能を確保、維持するための周産期棟自家用発電装置の更新(1000kVA⇒1500kVA)工事が7月に完成した。</p> <p>【防災訓練への取組について】</p> <p>・各病院の地域における防災の役割等を踏まえ、想定外の災害発生に対応できる実効的な防災訓練を企画し実施した。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・平成24年11月に職員を対象に足柄消防組合と連携して防災訓練を実施した。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・こども医療センターにおいて、夜間想定防災訓練、転入職員対象防災訓練といった目的や対象を明確にした防災訓練を実施した。また、訓練内容も出火場所を秘匿とするなど、より実践的な訓練とした。</p>	区分	平成23年度	平成24年度	防災訓練実施回数	14回	14回	防災訓練参加者数	1,649人	1,537人	<p>実績に対する評価</p>	S	S	<p>・足柄上病院は、平成25年2月に新たに「神奈川県DMAT指定病院」の指定を受け、院内にDMATを設置することにより、大規模災害等の発生に迅速且つ的確な災害時医療を実施する体制の整備に取り組んだ。</p> <p>・災害発生等に備えて、病院機能を確保、維持することができるよう、病院の施設整備、自家用発電装置設備の更新を行うとともに、各病院の地域における役割や病院個別の課題を踏まえつつ、想定外の災害発生に対応できる実効性のある防災訓練を企画、実施した。</p>
区分	平成20年度																										
防災訓練実施回数	14回																										
防災訓練参加者数	2,630人																										
区分	平成22年度																										
防災訓練実施回数	12回																										
防災訓練参加者数	2,316人																										
区分	平成23年度	平成24年度																									
防災訓練実施回数	14回	14回																									
防災訓練参加者数	1,649人	1,537人																									

[精神医療センター]

・総合整備の工事に伴い、災害時の患者の避難経路、避難場所が限定されることなどから、安全かつ迅速に避難できるように防災マニュアルを改定した。
また、改定したマニュアルに沿って各病院で防災訓練を実施し、検証を行った。

[がんセンター]

・部分訓練、総合訓練及び夜間訓練の3回の防災訓練を行った。

特に、総合訓練では、院内へ現在の状況について随時、放送を行い、実践的な訓練放送及び情報提供の伝達訓練をすることにより、在院者に不要な不安を与えないよう工夫した。一部の患者も参加した避難訓練では、消火器訓練やトリアージによる実働訓練を行った。

[循環器呼吸器病センター]

・出火の際の消火活動、情報伝達、避難誘導等の総合的な防災訓練（第1回）のほか、夜間時の災害を想定した『状況付与型訓練』（第2回）を初めて実施し、実効性のある防災対策の確立を図った。
・災害医療コーディネーターによる被災病院の災害対策についての職員研修を実施し、自所属が大地震などの災害に巻き込まれた際の、患者と自分自身の安全確保や医療機能の維持等について理解を深めた。

【総合整備の推進について】

[がんセンター]

・免震構造を採用した病院建設工事については、平成25年8月竣工へ向け計画通り進めた。手術室など患者の生命維持にかかわる医療機器を使用する部門については、無停電電源装置を介した電源供給とし、電源切替や電圧変動にも安全に対応した。また、重要度の高い諸室機能や防災設備には、停電時にも非常用発電及びガスコージェネレーションシステム（CGS）により電源供給を行った。

[精神医療センター]

・新棟整備にあたっては、より一層安全性を高めるため地震に強い免震構造を採用した工事を進めた。

【災害時における協定について】

・災害発生時等に各病院への燃料供給が困難になった場合において、県と石油関係業界団体との協定に基づき通常の流通経路によらない臨時的、緊急的な燃料供給を受ける指定施設となった。
・病院が保有する車両を緊急通行車両等に指定することにより、県と運輸関係業界団体との協定にもとづき、災害発生時の医療救護活動においてタイヤのパンク修理、タイヤ点検等の要請を行えることとなった。

課題

・足柄上病院は神奈川県DMAT指定病院として、災害時等における現場活動、域内搬送、病院支援及び広域医療搬送等を迅速且つ的確に行うための医療救護体制の構築を図る。

・災害時に病院機能を確保、維持するための病院の施設整備等を引続き行うとともに、想定外の災害発生等に対応できるよう平時における防災訓練等の取組の一層の強化を図る。

小項目 3 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 2 安全で安心な医療の提供
 (5) 情報セキュリティの強化

中期目標

個人情報の保護を徹底するため、情報システムにおけるセキュリティ対策を強化すること。
 また、職員に対して情報セキュリティの必要性を周知徹底する等、個人レベルでの情報セキュリティのために必要な取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			自己点数	評価点数	コメント																															
(5) 情報セキュリティの強化 ・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ネットワーク、電子メールサーバー等の情報基盤の整備に併せて、ウイルスチェック、不正アクセス対策を講じる等、セキュリティの向上を図る。 ・職員からの個人情報漏えいを防ぐため、情報セキュリティ研修の実施等、個人レベルでの情報セキュリティの意識を啓発する取組を進める。	(5) 情報セキュリティの強化 ・人事給与システムをはじめとした業務システム等の利用基盤となる、本部事務局及び各病院を結ぶ情報ネットワークの運用にあたり、セキュリティ対策を行う。 ・各所属に設置するファイルサーバーのデータのバックアップを自動的に取得するとともに、定期的に遠隔地に保管する。 ・情報セキュリティポリシーに対する理解を深めるとともに、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を周知するため、職員を対象に情報セキュリティ研修を実施する。 ・こども医療センターは、医療情報管理室を設置し、各医療情報システムのセキュリティ対策を一体的に運用管理する。	・県立病院機構独自の業務システムのネットワーク整備にあたり、ウイルス対策ソフトの導入や、ネットワークへの接続は共通利用パソコンに制限するなどのセキュリティ対策を講じた。 ・全所属で情報セキュリティ研修を実施した。また、新規採用職員・転入職員向け研修の受講科目として、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を説明した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月10日</td> <td>新採用職員・転入職員向け</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>8月21日</td> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>9月20日</td> <td>本部事務局</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>11月13日</td> <td>がんセンター</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>12月20日</td> <td>足柄上病院</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>2月4日</td> <td>こども医療センター</td> <td>191人</td> </tr> <tr> <td>2月6日</td> <td>精神医療センター</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>2月18日</td> <td>こども医療センター</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>910人</td> </tr> </tbody> </table> ・地震、火災等の災害によるデータ損失を防止するため、人事給与システム、財務会計システム等のバックアップを自動的に行うとともに、遠隔地に保管した。 ・こども医療センターにおいては、平成24年4月から医療情報管理室を設置し、個人情報の流出を防ぐデバイス制御等の各医療情報システムのセキュリティ対策を一体的に運用管理する体制を整備した。	実施日	対象	参加者数	4月10日	新採用職員・転入職員向け	283人	8月21日	循環器呼吸器病センター	70人	9月20日	本部事務局	25人	11月13日	がんセンター	57人	12月20日	足柄上病院	46人	2月4日	こども医療センター	191人	2月6日	精神医療センター	40人	2月18日	こども医療センター	198人		計	910人	実績に対する評価 ・業務システムのネットワーク整備にあたり、ウイルス対策ソフトの導入やネットワーク接続を共通利用パソコンに制限するなどのセキュリティ対策を実施した。 ・全所属で情報セキュリティ研修を実施し、職員に情報セキュリティへの理解を深めるとともに、日常業務における情報管理の留意事項を周知した。 ・こども医療センターにおいて、平成24年4月から医療情報管理室を設置し、各医療情報システムのセキュリティ対策を一体的に運用管理する体制を整備した。	A	A	
			実施日	対象	参加者数																															
4月10日	新採用職員・転入職員向け	283人																																		
8月21日	循環器呼吸器病センター	70人																																		
9月20日	本部事務局	25人																																		
11月13日	がんセンター	57人																																		
12月20日	足柄上病院	46人																																		
2月4日	こども医療センター	191人																																		
2月6日	精神医療センター	40人																																		
2月18日	こども医療センター	198人																																		
	計	910人																																		
			課題 日々複雑化するインターネット上の新たな脅威に対応するため、常に最新のセキュリティ対策を講じていく必要がある。																																	

小項目 3 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 患者の視点に立った病院運営

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。

また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																														
			自己点数	評価点数	コメント																																																																														
<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>患者との相互理解を深める取組や病院、医療情報の提供、患者の利便性の向上を図る取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った病院運営を進める。</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・患者、家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進するとともに、クリティカルパスの適用範囲を拡大する。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。</p> <p>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	足柄上病院	66件	こども医療センター	28件	芹香病院	3件	せりがや病院	2件	がんセンター	50件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>・各病院において、患者の負担軽減や計画的で分かりやすい医療を提供するため、クリティカルパス等を利用して患者へのインフォームドコンセントの実施に努めた。</p> <p>・クリティカルパス検討会議を開催し、新規作成や見直しを行うことで、エビデンスに基づく医療の質を確保する取組を実施した。</p> <p>[クリティカルパスの件数実績] (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">平成23年度</th> <th colspan="4">平成24年度</th> <th rowspan="2">件数</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>改定(見直し)</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>70</td> <td>2</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>29</td> <td>72</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>32</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>20</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>157</td> <td>81</td> <td>42</td> <td>13</td> <td>225</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院]</p> <p>・平成24年度はクリティカルパス検討会議を7回開催し、「人工関節置換術」など新規のクリティカルパス2件を作成した。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・クリティカルパス検討会議を3回開催した。また、電子カルテシステム導入に伴い、運用しているすべてのクリティカルパスを電子化した。</p>	病院名	平成23年度	平成24年度				件数	新規	改定(見直し)	廃止	足柄上病院	70	2	15	1	71	こども医療センター	29	72	17	12	89	芹香病院	3	0	0	0	3	せりがや病院	3	1	2	0	4	がんセンター	32	5	0	0	37	循環器呼吸器病センター	20	1	8	0	21	計	157	81	42	13	225	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>・クリティカルパスを利用し、患者が受ける治療、検査の具体的内容やその経時的流れを可視化した説明を行い、患者、家族等へのインフォームドコンセントを推進した。</p> <p>・こども医療センター及びがんセンターにおいては、電子カルテシステムの導入に伴い、全てのクリティカルパスを電子化した。</p>
病院名	平成20年度																																																																																		
足柄上病院	48件																																																																																		
こども医療センター	22件																																																																																		
芹香病院	1件																																																																																		
がんセンター	23件																																																																																		
循環器呼吸器病センター	18件																																																																																		
病院名	平成22年度																																																																																		
足柄上病院	66件																																																																																		
こども医療センター	28件																																																																																		
芹香病院	3件																																																																																		
せりがや病院	2件																																																																																		
がんセンター	50件																																																																																		
循環器呼吸器病センター	18件																																																																																		
病院名	平成23年度	平成24年度				件数																																																																													
		新規	改定(見直し)	廃止																																																																															
足柄上病院	70	2	15	1	71																																																																														
こども医療センター	29	72	17	12	89																																																																														
芹香病院	3	0	0	0	3																																																																														
せりがや病院	3	1	2	0	4																																																																														
がんセンター	32	5	0	0	37																																																																														
循環器呼吸器病センター	20	1	8	0	21																																																																														
計	157	81	42	13	225																																																																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・各県立病院におけるクリティカルパスの適用状況の調査分析を踏まえて、クリティカルパス適用拡大を図る。 ・こども医療センターにおいては、電子カルテシステム導入に伴いクリティカルパスの電子化を図る。 	<p>[芹香病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規作成パスはないが、多職種と新規パス作成の検討を行うとともに、「抑うつパス」など3件のクリティカルパスを運用した。 <p>[せりがや病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパス検討会議を2回開催し、実施状況等の確認を行うとともに、「薬物依存症入院クリティカルパス」を新たに作成した。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパス検討会議を10回開催し、新規に「I P療法クリティカルパス」をはじめとして5件を作成した。 ・電子カルテシステム導入に伴い、37件の全てのクリティカルパスについて電子化した。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカルパス検討会議を7回開催し、新たに「経食道心エコー」のクリティカルパスを作成した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き患者が安心して治療、検査が受けられるよう、クリティカルパスの新規作成及び改定を行い、適用拡大を図っていく必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 3 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。
また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																									
<p>・患者、家族が安心して医療を受けられるよう、地域医療連携室等で医療、福祉についての多様な相談を実施する。</p> <p>また、がんセンターにおいては、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に対するがんの電話相談を充実する。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績 (平成21年度) 5,394件</p>	<p>・地域医療連携室等で、経済的問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施する。</p> <p>・がんセンター相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績 (平成22年度) 6,879件</p>	<p>・各病院の地域医療連携室等において経済的問題や家庭環境をはじめとした多様な相談を実施し、患者・家族が安心して医療を受けられるよう努めた。</p> <p>[相談件数実績（地域医療連携室等への診療相談）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>11,264件</td> <td>11,439件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>21,933件</td> <td>27,137件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4,679件</td> <td>4,817件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>391件</td> <td>498件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>9,354件</td> <td>8,352件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>11,416件</td> <td>14,497件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59,037件</td> <td>66,740件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[がんセンターにおける相談件数（内訳）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>医療相談支援室</th> <th>がん臨床研究・情報機構</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談延件数</td> <td>7,291件</td> <td>2,063件</td> <td>9,354件</td> </tr> <tr> <td>うち電話</td> <td>3,597件</td> <td>2,063件</td> <td>5,660件</td> </tr> <tr> <td>うちサテライト</td> <td>395件</td> <td></td> <td>395件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成24年度実績</th> <th>医療相談支援室</th> <th>がん臨床研究・情報機構</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談延件数</td> <td>6,418件</td> <td>1,934件</td> <td>8,352件</td> </tr> <tr> <td>うち電話</td> <td>2,882件</td> <td>1,934件</td> <td>4,816件</td> </tr> <tr> <td>うちサテライト</td> <td>175件</td> <td></td> <td>175件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	11,264件	11,439件	こども医療センター	21,933件	27,137件	芹香病院	4,679件	4,817件	せりがや病院	391件	498件	がんセンター	9,354件	8,352件	循環器呼吸器病センター	11,416件	14,497件	計	59,037件	66,740件	平成23年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計	相談延件数	7,291件	2,063件	9,354件	うち電話	3,597件	2,063件	5,660件	うちサテライト	395件		395件	平成24年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計	相談延件数	6,418件	1,934件	8,352件	うち電話	2,882件	1,934件	4,816件	うちサテライト	175件		175件	<p>実績に対する評価</p> <p>各病院において患者や家族が安心して医療を受けられるよう、相談体制の強化を進めるとともに、相談しやすい環境整備に努めた。</p>	A	A	
病院名	平成23年度	平成24年度																																																												
足柄上病院	11,264件	11,439件																																																												
こども医療センター	21,933件	27,137件																																																												
芹香病院	4,679件	4,817件																																																												
せりがや病院	391件	498件																																																												
がんセンター	9,354件	8,352件																																																												
循環器呼吸器病センター	11,416件	14,497件																																																												
計	59,037件	66,740件																																																												
平成23年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計																																																											
相談延件数	7,291件	2,063件	9,354件																																																											
うち電話	3,597件	2,063件	5,660件																																																											
うちサテライト	395件		395件																																																											
平成24年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計																																																											
相談延件数	6,418件	1,934件	8,352件																																																											
うち電話	2,882件	1,934件	4,816件																																																											
うちサテライト	175件		175件																																																											

		<p>・各病院における特徴的な取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] ・地域医療連携室及び患者さん相談室において専門相談員が患者・家族との対面相談を行い、問題解決のための活動を実施した。</p> <p>[こども医療センター] ・平成25年度から患者家族の相談支援に特化した医療福祉相談室と保健行政との連携に特化した母子保健推進室に再編整備するため、保健福祉相談室の機能見直しを行った。</p> <p>・神奈川県から受託している小児救急電話相談(#8000)事業については、平成23年度の13,812件から277件増加の14,089件の相談に対応した。</p> <p>[芹香病院] ・医療相談室において、救急、ストレスケアをはじめとした患者からの相談に対応した。 また、医療観察制度への対応については、医療観察法病棟の開棟に伴い、専任スタッフを配置するなど体制の充実、強化を図り、患者や家族に制度の説明を行い、相談に応じた。</p> <p>[せりがや病院] ・心理・相談科において、依存症により生じた家族関係や就業・経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談に応じた。また、受診していない者の家族からの相談に着目して面接相談を行い、受診につなげた。</p> <p>[がんセンター] ・医療相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、看護師又はソーシャルワーカーが、経済的問題及び家庭環境に係る医療福祉問題等多様で幅広い相談に応じた。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・地域連携室において、看護師、事務職及び福祉職により、医療相談をはじめとする多様な相談に応じた。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後とも患者や家族が安心して医療が受けられるよう、相談体制の強化を進めていく必要がある。</p>		
--	--	---	--	--	--

小項目 35 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。
また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																																	
<p>・高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組む。</p> <p>(参考) セカンドオピニオン件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>(参考) セカンドオピニオン件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>686件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度	足柄上病院	1件	こども医療センター	39件	芹香病院	2件	がんセンター	686件	循環器呼吸器病センター	43件	<p>・各病院において、セカンドオピニオンを推進するため、実施方法をホームページや院内掲示等により、その周知に努めた。</p> <p>・各病院のセカンドオピニオンの実施件数は次のとおりである。</p> <p>[セカンドオピニオン件数実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>33件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>668件</td> <td>689件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>40件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>747件</td> <td>819件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	2件	0件	こども医療センター	33件	63件	芹香病院	3件	12件	せりがや病院	1件	0件	がんセンター	668件	689件	循環器呼吸器病センター	40件	55件	計	747件	819件	実績に対する評価	A	A	
	病院名	平成20年度																																																				
足柄上病院	3件																																																					
こども医療センター	40件																																																					
芹香病院	5件																																																					
がんセンター	789件																																																					
循環器呼吸器病センター	48件																																																					
病院名	平成22年度																																																					
足柄上病院	1件																																																					
こども医療センター	39件																																																					
芹香病院	2件																																																					
がんセンター	686件																																																					
循環器呼吸器病センター	43件																																																					
病院名	平成23年度	平成24年度																																																				
足柄上病院	2件	0件																																																				
こども医療センター	33件	63件																																																				
芹香病院	3件	12件																																																				
せりがや病院	1件	0件																																																				
がんセンター	668件	689件																																																				
循環器呼吸器病センター	40件	55件																																																				
計	747件	819件																																																				
課題	引き続き、高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組んでいく必要がある。																																																					

小項目 3 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。
 また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。
 (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供
 患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。
 さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																								
・県民の意見を反映し患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査等を実施する。	・県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施し、全体的な病院の評価（総合的な満足度）の結果を公表する。	・各病院において、病院運営や患者サービスに関する現状把握と改善に活用するため、入院及び外来の患者（家族）を対象に患者満足度調査を実施した。 ・調査では、「患者満足度調査の共通項目」として、全病院に「総合的な評価項目：全体としてこの病院に満足している」の設問を設定している。 ・各病院の病院全体の満足度を測る調査項目の結果は、次のとおりである。 [平成24年度満足度調査結果] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>母数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>母数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>93人</td> <td>128人</td> <td>72.7%</td> <td>200</td> <td>217人</td> <td>323人</td> <td>67.2%</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>135人</td> <td>177人</td> <td>76.3%</td> <td>313</td> <td>723人</td> <td>1,111人</td> <td>65.1%</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>芦香病院</td> <td>69人</td> <td>111人</td> <td>62.2%</td> <td>127</td> <td>171人</td> <td>345人</td> <td>49.6%</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>33人</td> <td>43人</td> <td>76.7%</td> <td>52</td> <td>98人</td> <td>105人</td> <td>93.3%</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>284人</td> <td>311人</td> <td>91.3%</td> <td>378</td> <td>574人</td> <td>704人</td> <td>81.5%</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>163人</td> <td>185人</td> <td>88.1%</td> <td>400</td> <td>342人</td> <td>397人</td> <td>86.1%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。 [足柄上病院] ・外来用女子トイレの一部を和式から洋式に変更し、新たにベビーチェアを設置した。また、外来待合に認知症のスクリーニング用として、タッチパネルパソコンによる「もの忘れ相談プログラム」を新たに設置するなど、患者サービスの向上を図った。	病院名	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	母数	満足評価	回答総数	満足度	母数	足柄上病院	93人	128人	72.7%	200	217人	323人	67.2%	390	こども医療センター	135人	177人	76.3%	313	723人	1,111人	65.1%	2,000	芦香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345	せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112	がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843	循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600	実績に対する評価	A	A	
				病院名	入院				外来																																																																				
満足評価	回答総数	満足度	母数		満足評価	回答総数	満足度	母数																																																																					
足柄上病院	93人	128人	72.7%	200	217人	323人	67.2%	390																																																																					
こども医療センター	135人	177人	76.3%	313	723人	1,111人	65.1%	2,000																																																																					
芦香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345																																																																					
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112																																																																					
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843																																																																					
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600																																																																					

		<p>[こども医療センター] <患者満足度調査の意見を反映した取組> ・ジップロック、離乳食、赤ちゃん用米菓、赤ちゃん用麦茶など、院内コンビニエンスストアの取扱品目を充実した。また、外来患者用食堂で卵、牛乳、小麦、落花生など特定の食品を使用していないメニューを開始した。</p> <p>・新生児病棟のコインロッカーを更新した。また、管理棟1階の待合場所に患者用ソファを追加設置した。</p> <p><患者サービスの向上の取組> ・入院患者の療養生活の改善を目的として、バイキング形式による食事を実施した。</p> <p>・駐車場の一部に人工芝を敷設し、患者・家族が歩きやすいよう整備した。</p> <p>・肢体不自由児施設の床頭台を免震機能付きに更新し、患者アメニティの向上を図った。</p> <p>[芹香病院] ・患者サービス向上のため、接遇の研修会を開催し、相手より目線を下げて対応する「膝をつく看護」の取り入れなど話しやすい雰囲気づくりを行うことでソフト面での満足度の向上を図った。</p> <p>・満足度調査の結果について、職員全員が参加できる報告会を開催し、意識の共有を図った。</p> <p>[せりがや病院] ・診療枠の拡大に伴う外来患者の増加により患者の待ち時間が延びることが予測されたため、外来に設置してある図書を増やすなど、少しでもくつろいで診察が待てるような環境づくりを心がけた。</p> <p>[がんセンター] ・院内に置いてある投書箱の意見などより、外来駐車場のラインを引きなおし、11台分を敷地内に取り込んだことにより、駐車場入口付近の渋滞が緩和した。</p> <p>・入院患者に提供する白米を吟味し、患者サービスの向上を図った。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・患者満足度向上会議を毎月開催し、患者満足度調査等で指摘された課題への対応に取り組んだ。また、平成24年度においては、来客用駐車場のラインの引き直しや外来診察室の出入扉の改修工事を実施し、患者・家族の利便性と安全性の向上を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>県立病院が有する医療機能をさらに有効活用するとともに、患者の視点に立ったより良い病院の運営改善につながるよう、各病院の患者満足度調査結果及びその改善策の共有化を図り、その対策を各病院に広げる仕組みを整備する必要がある。</p>			
--	--	--	---	--	--	--

小項目 37 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

中期目標

疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療の方法と実績等を、広く県民に、分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																							
			自己点数	評価点数	コメント																							
(2) 県民への病院・医療情報提供の充実 疾患・予防等に関する知識について、公開講座等を通じて、広く県民に普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法と実績やがんセンターにおける都道府県がん診療連携拠点病院としての情報等について、ホームページや広報誌等を通じて、情報発信を行う。	(2) 県民への病院・医療情報提供の充実 ・県民に県立病院が身近なものとして感じられるよう公開講座等を通じて、疾患・予防等に関する知識の普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。 ・ホームページについては、見やすさとともに、県民が必要とする情報を得やすくするための改善を引き続き行う。 [公開講座の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12回</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>9回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>4回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>6回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>10回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成22年度実績	平成24年度目標値	足柄上病院	12回	18回	こども医療センター	9回	9回	芹香病院	4回	5回	せりがや病院	1回	1回	がんセンター	6回	4回	循環器呼吸器病センター	10回	8回	・各病院に蓄積された疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療方法と実績等を公開講座を通じて、広く県民に分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行った。 ・神奈川県広報媒体を積極的に活用するとともに、広報誌の発行やホームページによる積極的な情報の発信に努めた。 ・ホームページは、県民が必要とする医療情報を得やすくするため、より親しみやすく、利用しやすい内容・デザイン、また病院の魅力を積極的にアピールすることを基本コンセプトに、そのリニューアルを順次進めた。 また、更新回数を増やし新着情報の提供に努めた。 ・フェイスブックによる各病院の取組や活動の情報発信を平成24年12月より開始した。	実績に対する評価		A	A	・ホームページの情報提供等の内容について、より患者満足度を高めるために検討していただきたい。
		病院名	平成22年度実績	平成24年度目標値																								
足柄上病院	12回	18回																										
こども医療センター	9回	9回																										
芹香病院	4回	5回																										
せりがや病院	1回	1回																										
がんセンター	6回	4回																										
循環器呼吸器病センター	10回	8回																										
・県立病院の治療の方法や実績について、公開講座や広報誌、ホームページを通じて県民に提供した。 ・ホームページは更新回数を増やし、新着情報の提供に努めるとともに、必要とする情報を得やすくするように構成を整理した。 ・フェイスブックによる各病院の取組や活動の情報発信を開始した。																												

		<p>各病院が実施した主な取組は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] ・公開講座等の開催 「最新のがん治療について」「ウイルス対策について」「糖尿病について」など ・広報誌の発行 病院情報誌「かけはし」年3回 発行部数 2,000部 タウンニュース掲載 医療レポート 年5回</p> <p>[こども医療センター] ・公開講座等の開催 「公開医療講座」「学術集談会」「小児救急医療キッズセミナー」「ハートキッズセミナー」「心肺蘇生講習会」など</p> <p>・平成24年度は新たに神奈川県からの補助を受け、県民救急理解推進事業として、県内小学校を訪問し、小児救急医療キッズセミナーを3回開催した。</p> <p>・広報誌の発行 地域連携室だより 年3回発行 3,000部</p> <p>・平成24年10月から毎週土曜日、FM戸塚のラジオ番組「ラジオの絆」において様々な取組の紹介を行った。</p> <p>[精神医療センター] ・公開講座等の開催 「こころの健康を考えてみませんか」など ・広報誌の発行 センターだより 年1回発行 700部 【芹香病院】 リワークプログラム 1,000部 ストレスケア病棟 1,000部 【せりがや病院】 せりがや通信 年4回発行 300部</p> <p>[がんセンター] ・公開講座等の開催 「肺がんの診断・治療の最前線」「がん治療中のあなたへーがんと上手につきあうためにー」「がんを知る」など ・広報誌の発行 がんセンターだより 年3回発行 2,250部 がんへの挑戦のしるべ(50周年記念誌) 1,600部</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・公開講座等の開催 「公開医療講座」(2回)、「出張医療講座」(7回)など、医師による疾患・予防等に関する医療情報の提供に加え、管理栄養士、看護師、理学療法士など幅広い職種で講演を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・引き続き、県民が必要とする疾患・予防等に関する医療情報の内容の把握に努め、その提供方法を検討するとともに、迅速で正確な情報発信に努める必要がある。</p> <p>・県民に県立病院が身近なものとして感じられるよう、公開講座のテーマ、開催規模、開催日程等について、さらに工夫する必要がある。</p>			
--	--	--	--	--	--	--

小項目 38 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
 また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
(3) 患者の利便性の向上 ・診療、検査、支払等の待ち時間を短縮するための取組や、在院日数の適正化により待機患者の減少を図る取組を実施し、患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるようにする。	(3) 患者の利便性の向上 ・各病院において、待ち時間の実態調査を実施し、待ち時間の改善に取り組むとともに、患者が待ち時間を負担に感じさせない取組を引き続き行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各病院において、待ち時間の短縮や、患者の負担感を軽減するための取組を行った。 各病院が行った待ち時間対策は次のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> [足柄上病院] <ul style="list-style-type: none"> 外来待合室ディスプレイに生活習慣病予防などの医療情報を提供 [こども医療センター] <ul style="list-style-type: none"> 会計が長引きそうな患者への説明 [芹香病院] <ul style="list-style-type: none"> 診療待ち時間の表示 [せりがや病院] <ul style="list-style-type: none"> 患者の状況に応じた診療予約枠の設定 [がんセンター] <ul style="list-style-type: none"> 採血待ち人数に応じた看護師の増員 [循環器呼吸器病センター] <ul style="list-style-type: none"> 外来待合室ディスプレイで配信する院内案内や医療・健康に関する情報の充実 	実績に対する評価 待ち時間の実態調査を行い、診療待ち人数に応じて柔軟に人員配置をしたり、患者の負担感軽減のための取組を行うことにより、患者サービス水準の向上を図った。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「待ち時間」についての適正なベンチマークを検討していただきたい。 B評価はやむを得ないが、6病院中3病院で待ち時間30分以内となっており、決して努力不足とは言えない。 待ち時間計測の定義と分類分け（診療予約の有無、会計、投薬）を行って計測の精緻化を図るとともに、予約あり診療については30分程度を目標に待ち時間の一層の短縮に努めていただきたい。 心理的な待ち時間の短縮の視点も重要であり、ポケットベルを活用する等、待ち時間であっても拘束はされていないという「解放感」を患者に与える工夫を検討していただきたい。また、患者満足度調査における待ち時間の結果を分析し、言及していただきたい。 	
			課題 今後も待ち時間調査の実施等により、患者ニーズを把握しながら必要な取組を継続して進めていく必要がある。				

[外来診療待ち時間実績]

病院名	平成23年度	平成24年度
足柄上病院	60分程度	60分程度
こども医療センター	30分程度	30分程度
芹香病院	30分程度	20分程度
せりがや病院	20分程度	20分程度
がんセンター	50分程度	40分程度
循環器呼吸器病センター	60分程度	60分程度

小項目39 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																						
<p>・休日・時間外における支払窓口の開設やコンビニエンスストアやクレジットカードでの支払等に取り組む。</p>	<p>・支払方法の選択範囲を広げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等を引き続き行う。</p> <p>・子ども医療センターは、医事会計システムの更新に伴い、障害児入所施設に係る本人負担分について窓口会計で支払いを可能とし、引き続き患者の利便性の向上を図る。</p>	<p>・クレジットカード、デビットカード、コンビニエンスストア収納の利用状況は以下のとおりとなっている。</p> <p>【クレジットカード、デビットカード利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">クレジットカード</th> <th colspan="2">デビットカード</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,993件</td> <td>5,194件</td> <td>28件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター</td> <td>8,947件</td> <td>9,649件</td> <td>107件</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1,724件</td> <td>2,029件</td> <td>96件</td> <td>131件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>447件</td> <td>472件</td> <td>8件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>25,773件</td> <td>29,763件</td> <td>1,702件</td> <td>1,189件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>9,505件</td> <td>10,572件</td> <td>234件</td> <td>221件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51,389件</td> <td>57,679件</td> <td>2,175件</td> <td>1,683件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【コンビニ収納利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">コンビニ収納</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>850件</td> <td>801件</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター</td> <td>187件</td> <td>951件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>834件</td> <td>1,601件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>271件</td> <td>531件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>49件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>346件</td> <td>352件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,537件</td> <td>4,258件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・子ども医療センターは、医事会計システムの更新に伴い、障害児入所施設に係る本人負担分について、窓口会計での支払いが可能となり、333件の利用があった。 また、未収金の発生防止及び患者負担の軽減のため、コンビニ収納を積極的に活用したことから、コンビニ収納が大幅に増加するなど、患者の利便性が向上した。</p> <p>・がんセンターは、平成25年2月にクレジットカードでの支払いが可能な自動精算機を更新したことにより、クレジットカードの利用が増加するなど、患者の利便性が向上した。</p>	病院名	クレジットカード		デビットカード		平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	足柄上病院	4,993件	5,194件	28件	39件	子ども医療センター	8,947件	9,649件	107件	102件	芹香病院	1,724件	2,029件	96件	131件	せりがや病院	447件	472件	8件	1件	がんセンター	25,773件	29,763件	1,702件	1,189件	循環器呼吸器病センター	9,505件	10,572件	234件	221件	合計	51,389件	57,679件	2,175件	1,683件	病院名	コンビニ収納		平成23年度	平成24年度	足柄上病院	850件	801件	子ども医療センター	187件	951件	芹香病院	834件	1,601件	せりがや病院	271件	531件	がんセンター	49件	22件	循環器呼吸器病センター	346件	352件	合計	2,537件	4,258件	<p>実績に対する評価</p> <p>子ども医療センター及びがんセンターにおける新たな取組による効果もあり、総体的に収納件数が大幅に伸びており、患者の利便性向上に対応した。</p>	A	A	
病院名	クレジットカード			デビットカード																																																																								
	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度																																																																								
足柄上病院	4,993件	5,194件	28件	39件																																																																								
子ども医療センター	8,947件	9,649件	107件	102件																																																																								
芹香病院	1,724件	2,029件	96件	131件																																																																								
せりがや病院	447件	472件	8件	1件																																																																								
がんセンター	25,773件	29,763件	1,702件	1,189件																																																																								
循環器呼吸器病センター	9,505件	10,572件	234件	221件																																																																								
合計	51,389件	57,679件	2,175件	1,683件																																																																								
病院名	コンビニ収納																																																																											
	平成23年度	平成24年度																																																																										
足柄上病院	850件	801件																																																																										
子ども医療センター	187件	951件																																																																										
芹香病院	834件	1,601件																																																																										
せりがや病院	271件	531件																																																																										
がんセンター	49件	22件																																																																										
循環器呼吸器病センター	346件	352件																																																																										
合計	2,537件	4,258件																																																																										
			<p>課題</p> <p>診療費支払いにあたり、多様な方法を用意していることについて、引き続き周知を図っていく必要がある。</p>																																																																									

小項目 40 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (4) ボランティア・NPOとの協働

中期
目標

様々な県民ニーズに対応したボランティア活動を行うボランティアやNPOの協力を得て、療養の支援を図る取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(4) ボランティア・NPOとの協働 ・ボランティアの協力の下、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動等を実施する。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設の運営を支援する。</p>	<p>(4) ボランティア・NPOとの協働 ・ボランティアの協力を得て、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施する。</p> <p>・通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて運営の支援を行う。</p> <p>・子ども医療センターは、患者の療養の支援を図る取組を進めるため、NPOからセラピードッグの派遣を受け入れる。</p>	<p>・ボランティア団体等の活動と連携・協力を得て、院内案内業務、患者介助等やコンサート等のレクリエーション活動等、患者の療養の支援を図る取組を推進した。</p> <p>・診療等での適切かつ円滑な意思疎通を図るため、通訳ボランティアによる支援を受け、外国籍患者等の診療に対応した。 延べ利用件数 397件</p> <p>[足柄上病院] ・ランパス、杉の子会、松田絵手紙の会、音楽ボランティア会、受付介助ボランティア会の各団体との連携・協力による各種活動や療養支援が行われた。</p> <p>[子ども医療センター] ・患者のQOLの向上や通院に対する恐怖感の軽減のため、26団体のボランティア団体(統括組織としてオレンジクラブがあり、構成員は324人)の協力により、各種活動(演奏会、遊び相手、生け花、園芸、装飾品の作成・展示等)や療養支援(介添え、院内誘導等)が行われた。</p> <p>・入院患者の家族滞在施設（リラのいえ・利用可能室8室）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて、長期入院患者の家族に対する支援を行った。 利用家族数：409家族、利用者数：4,643人 延べ宿泊数：2,246日</p> <p>・NPO法人スマイルオブキッズが運営する入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）を支援していくため、かながわ県立病院小児医療基金から500万円をNPO法人スマイルオブキッズへ交付した。</p>	<p>・様々なボランティアの人々に病院運営の活動に参画してもらい、患者・家族の精神的な支え、療養生活の環境改善の向上の一助となった。</p> <p>・子ども医療センターは、治療を続ける患者のストレスや不安を解消し、治療への勇気を持ってもらうため、NPO法人から全国で2例目となる、病院に常駐するファシリティドッグ(セラピードッグ)の派遣を受け入れた。</p>	A	A	

[こども医療センター続き]

・治療を続ける患者のストレスや不安を解消し、治療への勇気を持ってもらうため、平成24年7月にNPO法人シャイン・オン・キッズから全国で2例目となる病院に常駐するファシリテッドッグ(セラピードッグ)の派遣を受け入れた。

延べ対応患者数 2,179件

[芹香病院]

・琴グループさくら、老寿会をはじめとしたボランティアの協力を得て、患者の社会性を養うことなどを目的としたデイケアプログラムを4回実施した。

[せりがや病院]

・依存症の患者や家族で構成する自助グループ(断酒会・AA)等の協力を得て、入院患者に対し、治療プログラムを実施した。

[がんセンター]

・ランパス(音楽、ミニコンサートなど)、スヴェンソン(理容ボランティア)らの協力を得て、院内案内業務や患者のレクリエーション活動、療養の支援等を実施した。

[循環器呼吸器病センター]

・ランパス、MOA山月の協力を得て、院内の案内や外来患者の介助、コンサートや図書の貸し出しなどの療養生活の支援を行った。

[ボランティア団体数]

病院名	平成23年度	平成24年度
足柄上病院	5	5
こども医療センター	25	26
芹香病院	2	2
せりがや病院	6	6
がんセンター	2	2
循環器呼吸器病センター	2	2
計	42	43

課題

・引き続き、患者の療養の支援を図る取組を進めるため、ボランティア活動と病院運営との効果的な連携方法を検討していく必要がある。

・こども医療センター入院患者の家族滞在施設(リラのいえ)について、継続的に支援していく必要がある。

小項目 4 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (1) 医師の確保と育成

中期目標

医療を提供する基盤である医師や看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、人材の育成に向けた研修等の充実に努めること。

(1) 医師の確保と育成

質の高い医療を継続的に提供するため、優秀な医師の確保に努めること。

また、初期臨床研修医及び後期臨床研修医等を積極的に受け入れ、次代を担う若い医師を育成するとともに、医師の専門性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師や看護師等の医療従事者の確保と育成に努めるとともに、勤務環境の改善や資質向上の機会の拡大等、医療従事者を支援する取組を推進する。</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <p>・広く一般から優秀な人材を確保するため、医師の公募を行う。</p> <p>・初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、教育研修体制を強化するとともに、後期臨床研修医が研修に専念できるよう、待遇面等について充実を図る。</p>	<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <p>・連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。</p> <p>・専門性の向上につながる魅力的な教育・研修体制を充実させるなど、後期臨床研修医の積極的な受入れに努める。</p> <p>・子ども医療センターは、横浜市立大学との間で子ども医療センターの医師が大学院生の教育・指導、横浜市立大学院生が子ども医療センターの研修医としての研究、子ども医療センターの研修医が大学院生としての受講を行うことを目的とした相互交流による連携大学院制度を推進し、医師の育成体制を強化する。</p>	<p>・平成25年3月31日時点で、後期臨床研修医を除く医師の必要数314人のところ、現員数が294人で、充足率は93.6%である。</p> <p>・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基礎としつつ、それ以外の手法（公募や人的ネットワークの活用）による採用とあわせ、平成24年度は70人（前年度比±0人）採用した。</p> <p>・後期臨床研修医については、足柄上病院2人（前年度比±0人）、子ども医療センター42人（同1人減）、精神医療センター1人（同1人増）、がんセンター31人（同3人増）、循環器呼吸器病センター7人（同2人増）と、前年度比5人増の合計83人を受け入れた。</p> <p>・子ども医療センターにおいては、横浜市立大学との連携大学院協定に基づき、子ども医療センターの医師5名が横浜市立大学大学院の客員教授として講義を行ったほか、横浜市立大学大学院生1名を研修医として受入れ、また、平成25年度から子ども医療センターの医師3名が大学院の授業を受講することが決定した。</p>	実績に対する評価	A	A	<p>・足柄上病院の産科医師の不足は大きな問題である。</p>	
			課題				
			後期臨床研修医については、他の医療機関との競争性や医療の高度専門化に対応できる人材の育成に向けて、さらにカリキュラムを充実させる必要がある。				

小項目 4 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (2) 看護師の確保と育成

中期目標

質の高い看護を継続的に提供するため、看護師の確保に努めるとともに、看護師の能力を向上させるための研修を実施し、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師の資格取得を促進すること。また、看護学生の実習を積極的に受け入れ、看護師の育成に寄与すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																		
<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・質の高い看護を継続的に提供するため、看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図る。</p> <p>・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、キャリアパスによるキャリア開発とその支援を行うための研修を実施するとともに、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師を、その資格が活用できる職場に積極的に配置する。</p>	<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施し、受験を促進するとともに、採用試験実施回数の拡大や県外試験の実施等により、7対1看護体制取得に向けて看護師確保を図る。</p> <table border="1"> <caption>[看護師採用必要数]</caption> <tr> <td>平成24年4月1日看護師数(見込)</td> <td>1,510人</td> </tr> <tr> <td>欠員数(要補充)(A)</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度退職見込数(過去3年の平均)(B)</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度必要数(C)</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度採用必要数(A+B+C)</td> <td>207人</td> </tr> </table> <p>(注) この必要数は、中期計画策定時の目標病床利用率に基づき、7対1看護体制を取得するために必要な人員をすべて常勤職員で確保すると仮定した場合のものである。</p> <p>・看護師等の養成施設に在学する者に修学資金を貸付けることで、その者の修学を容易にし、病院機構の病院に勤務する環境を整えることを目的とした修学資金貸付制度を実施する。</p> <p>・看護師の教育・研修体制の充実、プリセプターシップの実施等により、看護師の育成とその定着を図る。</p>	平成24年4月1日看護師数(見込)	1,510人	欠員数(要補充)(A)	12人	平成24年度退職見込数(過去3年の平均)(B)	146人	平成24年度必要数(C)	49人	平成24年度採用必要数(A+B+C)	207人	<p>・全病院を対象とする採用試験を7回実施した。また、病院それぞれが試験を実施し、採用時にはその病院に配属される配属確定型試験を5回実施し、計12回の採用試験の実施により、看護師は平成25年4月1日現在で1,506人となった。</p> <p>・看護師確保対策の一つとして、病院のタイムリーな情報を全国的に広く提供し、採用活動へと繋げていくことを目的として平成24年12月からフェイスブックの運用を開始した。</p> <p>・修学資金の借受生は28人であり、平成24年度の卒業生7人が希望する県立病院機構の病院に就職した。</p> <table border="1"> <caption>[修学資金借受生の内訳]</caption> <thead> <tr> <th>卒業年</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新人看護師にはプリセプターシップをはじめとするきめ細かな1年目研修を実施するとともに、経験年数に従って5段階のステップで能力開発を行うキャリア形成体系(クリニカルラダー)に基づき、院内外において研修を実施した。</p>	卒業年	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計	足柄上病院	0	6	2	8	こども医療センター	4	2	0	6	精神医療センター	0	0	0	0	がんセンター	2	3	2	7	循環器呼吸器病センター	1	4	0	5	未定	0	1	1	2	合計	7	16	5	28	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>A</p>	<p>・離職者を少なくするための具体的な対策について検討していただいた。</p> <p>・がんセンターにおいて7対1看護体制を整えた。</p> <p>・新卒看護師の離職については、離職理由の分析や職場環境の改善に取り組んだ結果、目標値を達成した。</p>
平成24年4月1日看護師数(見込)	1,510人																																																						
欠員数(要補充)(A)	12人																																																						
平成24年度退職見込数(過去3年の平均)(B)	146人																																																						
平成24年度必要数(C)	49人																																																						
平成24年度採用必要数(A+B+C)	207人																																																						
卒業年	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計																																																			
足柄上病院	0	6	2	8																																																			
こども医療センター	4	2	0	6																																																			
精神医療センター	0	0	0	0																																																			
がんセンター	2	3	2	7																																																			
循環器呼吸器病センター	1	4	0	5																																																			
未定	0	1	1	2																																																			
合計	7	16	5	28																																																			

コース種類	専門コースⅠ		専門コースⅡ		管理コースⅠ	管理コースⅡ	計	(参考)平成23年度
	医療安全	ベークアップ	アドバンス	キャリア形成	リーダーシップ			
参加者数	17	15	16	14	10	72	67	

・看護専門学校等と看護学生の受入れについて連携を図るとともに、より一層の看護学生の実習受入れに努める。

(参考) 看護実習受入実績

区分	平成20年度
保健福祉大学	123人
よこはま看護専門学校	397人
平塚看護専門学校	159人
その他	830人
計	1,509人

[新卒看護師離職率の実績と目標値]

区分	平成22年度実績	平成24年度目標値
病院機構の新卒看護師採用人数	93人	—
病院機構の新卒看護師退職人数	8人	—
病院機構の新卒看護師離職率	8.6%	9.5%未満
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	—
全国の新卒看護師平均離職率	8.1%	—

(注) 神奈川県及び全国の新卒看護師平均離職率は、社団法人日本看護協会の「2011年病院看護実態調査」結果速報の公表値とする。

・専門看護師及び認定看護師の資格を有する看護師を積極的に活用する等、専門能力を称揚する取組により、その専門能力向上を促進する。

(参考) 専門看護師等の有資格者数実績

区分	平成22年度
専門看護師	10人
認定看護管理者	4人
認定看護師	53人
精神科認定看護師	5人
計	72人

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の実習受入れ拡大を図る。

(参考) 看護実習受入実績

区分	平成22年度
保健福祉大学	139人
衛生看護専門学校	241人
よこはま看護専門学校	501人
平塚看護専門学校	93人
その他	682人
計	1,656人

・新卒看護師の離職率は、平成23年度が11.5%に対して平成24年度は5.5%となり、目標値の9.5%未満を達成した。

[新卒看護師離職率の実績] (人)

区分	平成23年度	平成24年度
病院機構の新卒看護師採用人数	122	112
病院機構の新卒看護師退職人数	14	7
病院機構の新卒看護師離職率	11.5%	5.5%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	—
全国の新卒看護師平均離職率	7.5%	—

・平成24年度には、新たに専門看護師6人、認定看護師3人が認定を受け、県立病院機構全体で専門看護師等の有資格者は、合計83人(前年度比9人増)となり、専門能力が発揮できるよう配置を行った。

[専門看護師等の有資格者数実績] (人)

区分	平成23年度	平成24年度
専門看護師	15	21
小児看護	5	6
がん看護	7	11
家族看護	2	2
慢性疾患看護	1	1
精神看護	0	1
認定看護管理者	3	5
認定看護師	51	52
皮膚・排泄ケア	6	6
集中ケア	8	8
がん性疼痛看護	16	15
がん化学療法	3	4
乳がん看護	1	1
緩和ケア	6	4
感染管理	7	7
糖尿病看護	0	2
小児救急看護	2	2
新生児集中ケア	2	2
救急看護	0	1
精神科認定看護師	5	5
計	74	83

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の実習を平成24年度合計1,606人(前年度比72人増)受け入れた。

(参考) 看護実習受入実績 (人)

区分	平成23年度	平成24年度
保健福祉大学	160	306
衛生看護専門学校	197	203
よこはま看護専門学校	613	321
平塚看護専門学校	75	155
その他	489	621
計	1,534	1,606

課題

・循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の確立に向けて、さらに看護師の確保が必要である。

・看護師の定着対策については、引き続き新卒看護師の指導方法に工夫を重ねるほか、中堅職員の負担軽減などを図る必要がある。

小項目 4 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

中期目標

コメディカル職員等について、必要な職員の確保に努めるとともに、研修の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																					
			自己点数	評価点数	コメント																																					
<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・必要な職員を迅速に確保するため、各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法を適切に設定して試験を実施する。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を効果的に実施するとともに、実施に当たっては、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する。</p> <p>・職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。</p> <p>・研修の実施に当たっては、専門的な知識を得られるよう内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p> <p>・平成27年中の重粒子線治療開始に当たり円滑な運営を行うため、診療放射線技師を先行して重粒子線治療を行っている施設への派遣研修による人材育成を計画的に行う。</p>	<p>・コメディカル職員については、一般採用区分と医療機関等での勤務経験3年以上の者を対象とする経験者採用区分を設けることで平成25年4月1日現在で前年同期比25人増となる305人を確保した。</p> <p>・福祉職については、職場の実態に即し、相談・心理・介護の分野ごとに試験区分を設け、業務に応じた職員の確保に努めた。</p> <p>【福祉職・コメディカル職種の採用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>一般</th> <th>経験者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉職</td> <td>—</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>8人</td> <td>3人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>—</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>—</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>—</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>栄養管理科長</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度採用者</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上のため、県機関、各種学会等が実施する外部研修に参加させ、専門知識の習得を図るとともに、チームワーク力強化研修を実施し、病院での職務を遂行するにあたり、コメディカル職員に求められるコミュニケーション能力の向上を図った。</p> <p>・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、診療放射線技師を先行して重粒子線治療を行っている施設へ派遣するなどにより計画的な人材育成を図った。</p>	職種	一般	経験者	合計	福祉職	—	7人	7人	薬剤師	8人	3人	11人	診療放射線技師	2人	5人	7人	臨床検査技師	—	4人	4人	理学療法士	—	2人	2人	臨床工学技士	—	1人	1人	保育士	—	2人	2人	栄養管理科長	—	1人	1人	<p>実績に対する評価</p> <p>・コメディカル職種については、各病院の実態を踏まえ、医療ニーズに対応した職員の確保に努めた結果、平成25年4月1日現在で前年同期と比べて25人を増員した。</p> <p>・経験者の採用を積極的に行ったことにより、即戦力として業務に従事することができる人材や将来性豊かな人材を確保した。</p>	A	A	
			職種	一般	経験者	合計																																				
福祉職	—	7人	7人																																							
薬剤師	8人	3人	11人																																							
診療放射線技師	2人	5人	7人																																							
臨床検査技師	—	4人	4人																																							
理学療法士	—	2人	2人																																							
臨床工学技士	—	1人	1人																																							
保育士	—	2人	2人																																							
栄養管理科長	—	1人	1人																																							
			<p>課題</p> <p>コメディカルの確保については、採用試験の広報や採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する必要がある。</p>																																							

小項目 4 4 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 4 医療人材の確保と育成
 (4) 勤務環境の改善

中期目標

看護師等を安定的に確保するため、ワークライフバランスをとりやすい多様な勤務形態を検討・実施する等、医療従事者が安心して働くことができるよう勤務環境の改善に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			自己点数	評価点数	コメント									
(4) 勤務環境の改善 ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・医療従事者宿舎の整備、民間アパートの借上げ等、各病院の実情に応じた取組により医療従事者公舎の充実を図る。 ・ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。	(4) 勤務環境の改善 ・医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 ・子ども医療センターにおいて、小児専門の三次医療機関として必須の豊富な知識と高度な医療技術を有する医療スタッフの確保、及び災害時の医療機能維持を目的に、医師宿舎の改修及び医療従事者宿舎を建設する。 ・職員のワークライフバランスに資するため、現行の時差出勤制度の見直しの検討や、年次有給休暇の取得促進に向けた取組を行う。 ・各病院の業務の実態に応じた時間外勤務の縮減を図るなど、労働時間の適正化に向け、業務見直しを進めるとともに、職員の意識啓発や、タイムマネジメントの研修を開催するなどの取組を行う。 ・短時間勤務常勤職員や夜間専従常勤職員など、ワークライフバランスを充実するための多様な勤務形態の導入について検討する。	・早出勤者や遅出勤者、さらには準夜勤務、深夜勤務のある看護師などの医療従事者の勤務形態に合わせた保育を実施するため、保育時間の延長、週2日程度の24時間保育を引き続き実施した。 ・子ども医療センターにおいて、平成24年度に医療従事者宿舎の新築工事及び医師宿舎の改修工事が完成した。 ・年次休暇を取得しやすくするような職場環境の整備のため、看護局長会議や事務局長会議などを通じて職員の年次休暇取得促進に向けた取組を推進した。 <table border="1"> <caption>職員1人当たりの年休取得状況(平成24年)】(単位:日)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年</th> <th>平成23年</th> <th>平成22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均</td> <td>9.6</td> <td>8.7</td> <td>8.4</td> </tr> </tbody> </table> ※ 暦年の取得日数 ・技能職員を対象に、タイムマネジメント研修及びモチベーション向上研修を実施し、時間の有効な活用法や仕事の取組方法について検討し、仕事を効果的・効率的に進めるための具体的な方法論についてグループワークを行った。 ・ワークライフバランスを充実するため、短時間勤務職員や夜間専従常勤職員などの多様な勤務形態の導入に向けた検討を行った。		平成24年	平成23年	平成22年	平均	9.6	8.7	8.4	実績に対する評価 ・看護師等の医療従事者の確保、定着に向け、働きながら子育てが出来る環境を整備した。 ・仕事と生活の調和が取り入れられるよう年次休暇取得促進に向けた取組を推進した。	A	A	・ワークライフバランスの指標については、年次休暇の取得のほかにも幅広く捉えることができるものを検討していただきたい。
				平成24年	平成23年	平成22年								
平均	9.6	8.7	8.4											
課題 ・24時間保育の実施回数等について、利用状況を踏まえて、検討していく必要がある。 ・ワークライフバランスを取りやすい勤務形態の導入に向けて、短時間正規職員や夜間専従の正規職員の制度について、他病院の状況を参考としながら、引き続き検討していく必要がある。														

小項目 4 5 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立

中期目標

地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を整備するとともに、地方独立行政法人制度の利点を生かして、より一層効率的・効果的な業務運営を行い、経営改善を図ること。

1 業務運営体制の確立

病院経営に関する意思決定を主体的に行い、迅速に実行に移すため、理事会及び本部事務局の体制を整備するとともに、効率的・効果的な業務運営を行うための体制を整備すること。
また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる取組の実現に向けた体制を整備すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を確立する。 また、人事・予算等を弾力的に運用できる地方独立行政法人制度の利点を生かして、効率的・効果的な業務運営を行うとともに、収益を確保し、費用を削減するための経営改善の取組を推進する。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>効率的・効果的な業務運営を行うため、病院経営に関する意思決定を、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会で行うとともに、各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にする。 また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標等に掲げる取組の実現に向けた体制を整備するため、本部事務局及び各病院に経営企画機能を担う部署を設置する。 さらに、中期目標等に掲げる組織目標の達成に向けて、各病院が自律的に取り組むため、年度計画に病院ごとの収支計画等の経営目標を明示する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>・理事会による法人の運営体制の下に、各病院の理事が与えられた権限を適切に行使することにより、各病院の自律性を発揮した医療機能の充実及び経営改善に向けた取組をより一層進め、法人全体の経営基盤の強化を図る。</p> <p>・理事長、副理事長、理事、各病院の長並びに本部事務局及び各病院の経営企画機能の統括を担う職員等で構成する経営会議を中心に、各病院の経営状況の情報の共有化を図るとともに、病院別の四半期ごとの執行状況を踏まえた経営分析等を行い、病院業務の効率化等、経営改善に向けた取組をより一層推進し、中期目標等に掲げる取組を着実に進める。</p>	<p>・理事会において、法人運営にかかる重要事項について検討及び意思決定を行うとともに、新たに理事及び監事を構成員とする「経営戦略会議」を設置し、各病院の収益確保対策や費用の効率的執行に対する取組の情報を共有し、意見交換を行うなど、経営改善への取組を強化した。 理事会11回、経営戦略会議10回</p> <p>・各所属の経営状況について相互に意見交換を行うことを目的に設置している経営会議の構成員を、所属長に次ぐ立場である病院長、副院長に改め、経営状況に係る報告及び分析をより実務レベルで行うこととした。 経営会議7回</p> <p>・看護部門の積極的な経営への参画を目的として、平成25年4月1日付けで看護局長を副院長に登用した。</p> <p>・診療の基盤となっているスタッフの考えや業務取組状況が直接法人幹部に伝わるよう、理事長とメディカル部門の責任者との意見交換の機会を設け、職員の経営意識の向上を図った。</p> <p>・これまでの診療収入の状況に加えて、人件費や材料費の執行状況について役員への報告を毎月の定例とすることにより、各病院の経営状況を法人幹部職員が適時に把握できるよう仕組みを構築した。</p> <p>・新たな財務システムにより、費用の計上について発生日を基準とした集計を行い、月次の損益を正確に把握することが可能となったことから、月次決算を実施し、各病院の経営状況をきめ細かに把握し、収入・支出の執行管理を適時に行うこととした。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>理事会をはじめとする各種の会議等において、各病院の経営状況をきめ細かに把握するとともに、情報の共有を図ることにより、経営改善に資することができた。</p>	A	A	<p>・看護局長を副院長に登用したのを機に、スタッフの大半を占める看護職員の一層の経営参画意識を向上させるため、経営状況等の情報の積極的な提供が効果的である。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・病院機構独自の人事給与システムを開発・導入し、神奈川県の人件給与システムを暫定利用していた運用体制を改める。 ・新システムに登録されたデータを利用して集計作業や資料作成の効率化を図るとともに、業務運営体制の基礎資料として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで運用していた神奈川県の人件給与システムの暫定利用を改め、県立病院機構独自の人事給与システムを開発・導入した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>各種会議の構成員が、自病院のみならず、他病院の経営状況を把握し、相互に多角的な視点から意見交換が行えるよう、分析力のより一層の向上を図る必要がある。</p>			
--	---	---	--	--	--	--

小項目 4 6 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期
目標

ア 人事・予算の弾力的運用
 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(7) 診療体制・人員配置の弾力的運用</p> <p>医療ニーズの質の変化や患者動向に迅速に対応するため、職員の採用や医師等スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等を行う。</p>	<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(7) 診療体制・人員配置の弾力的運用</p> <p>正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。</p>	<p>雇用期間の定めのある職員については、業務の内容等に応じ、契約職員・非常勤職員・短期非常勤職員・再雇用職員などを多様な勤務形態で雇用し、診療体制の強化や正規職員の欠員補充に迅速に対応することによって、医療専門職員による継続的かつ的確な医療を行う体制を整えた。</p>	実績に対する評価	A	A	
			課題			
					医療ニーズや医療環境等の変化に即応できるような採用方法を引き続き検討する必要がある。	

小項目 46-2 業務実績及び評価

<p><評価の大項目></p> <p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営</p>
--

中期目標	<p>ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営</p> <p>ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(4) 予算執行の弾力化</p> <p>中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行う。</p>	<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営</p> <p>ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(4) 予算執行の弾力化</p> <p>中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。</p>	<p>総長・所長等の判断により、各所属が実情に応じて予算の範囲内で柔軟に科目間の流用を行うことにより、医療ニーズの変化に適時に応じた病院運営を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>予算の効率的な運用を行うことにより、効果的かつ迅速な執行を行った。</p>	A	A	
			<p>課題</p> <p>法人全体で効率的かつ効果的に予算執行を行うよう、留意する必要がある。</p>			

小項目 4 7 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

(1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

イ 事務職員の専門性の向上

県立病院機構で独自に事務職員を採用することにより、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
イ 事務職員の専門性の向上 ・診療報酬事務等、病院特有の事務や病院経営に関する知識・経験を有する人材等の採用を計画的に進める。 ・経営企画機能を強化し、高度な専門性を有する事務職員を育成するため、診療報酬事務等の専門研修を実施する。	イ 事務職員の専門性の向上 ・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を行うため、一般の採用試験とは別に、経験者を対象とした採用試験を実施する。 ・事務職員については、業務を通じて専門的な知識や能力を高めるとともに、診療報酬事務、会計事務及び病院経営に係る企画・経営分析能力の向上を図る研修を実施し専門性を高める。 ・事務職員としての経験年数、専門性を考慮した研修カリキュラムを整備する。	・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を行うための知識・経験を有する人材確保に向け、一般採用試験に加え、経験者採用試験を行い、20人の事務職員を採用し、平成25年4月1日付で本部事務局、各病院（総務課、医事課、経営企画課、地域連携室等）に配置した。 ・事務職員を対象に、病院経営に係る基礎的能力等の向上を目的とした簿記研修や独立行政法人制度に関する研修等を引き続き実施した。 ・県立病院機構採用事務職員が配属所属以外の病院等において、業務を体験又は経験することを通じて、幅広い視野を持ち、自らの業務の改善に役立てることができる職員を養成するとともに、組織における人材育成の風土を醸成させていくことを目的に病院等での現場研修を実施した。 ・県立病院機構幹部職員を対象に、病院経営における費用に対する意識（コスト意識）レベルを高めるとともに、経営における課題の的確な認識、決断のタイミング、決断内容の正当性を確保するための具体的な方法論等、経営者に求められる能力の向上を図るため、県立病院機構幹部職員研修を実施した。	実績に対する評価	A	A	
			・平成24年度実施の経験者採用試験においては、従前までの医療機関経験に特化したものから、医療機関以外の民間企業等での経験も加味するものに変更し、より幅広い人材の確保に努めた。 ・経験者枠の採用区分で採用した職員は、その者の業務実績等を考慮し、即戦力として相応の部門に配置した。 ・職員の幅広い視野や実務能力の向上を図る研修や幹部職員向けの研修を新たに実施するなど、その充実・強化を図るとともに、その実施を計画的に行った。			
			課題			
			・職員が多様な業務経験を通して病院経営に必要な能力を習得・発揮できるよう、人事ローテーションを工夫し、本部事務局及び各病院へのバランスの取れた配属を行うとともに、専門性の高い職員を育成していく必要がある。 ・病院事務職員としての経験年数、専門性を考慮した研修カリキュラムの整備を行う必要がある。			

小項目 4 8 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- ウ 職員の経営参画意識の向上
 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するための取組を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
ウ 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するため、表彰制度の実施や、医療機器の整備等に要する予算を病院の経営実績を反映して傾斜配分する等経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	ウ 職員の経営参画意識の向上 ・病院経営に係る企画・経営分析能力等の向上を図る研修を充実することにより、職員の経営参画意識の醸成を図る。 ・経営に対する職員の意識を高め、経営への参加を促すため、業務改善、経営の効率化、増収・経費節減等に関する職員提案を行い、優良取組について理事長表彰を行う。 ・各県立病院の経営改善の取組をすべての病院で共有するため、病院が開催する経営会議に他病院の事務職員等が参加する取組を行うとともに、経営企画課長と理事長との自由意見交換会を開催する。	・意思決定機関である理事会とは別に、新たに「経営戦略会議」を設置し、役員間で直近の経営状況などを踏まえた議論を行った。 ・診療の基盤となっているスタッフの考えや業務取組状況が直接法人幹部に伝わるよう、理事長とコメディカル部門の責任者との意見交換の機会を設け、職員の経営意識の向上を図った。 ・事務職員を対象に病院経営に係る基礎能力・応用能力、企画能力、経営分析能力等を養成、強化する取組として、病院経営に関する問題解決能力強化研修（全1回）を実施した。 ・職員の経営参画意識を醸成するよう、質の高い安全な医療の実現をテーマとした業務改善等について、理事長表彰を実施するとともに、各病院の専門性・特性に応じた職員の創意工夫や地道な取組などについて、所属長表彰を実施した。 39件（36団体及び個人3人） ・病院等での現場研修において、各病院が実施する研修受講者の院内運営会議への出席や本部事務局が実施する研修受講者の理事会や予算ヒアリング等への出席ができるよう研修メニューを整備することで、職員の経営参画意識を高める取組を充実、強化した。 ・各病院において、経営会議の内容を速やかに職員に伝達するとともに、経営改善に係る講演会の実施、経営改善に関する会議の実施等により、職員の経営参画意識の向上に取り組んだ。	実績に対する評価	A	A		
			課題				
							・職員の能力を養成、強化する研修の実施や、各病院において講演会を実施するなど、経営参画意識向上のための取組を、毎年度改善を図りながら継続したことにより、計画額を上回る利益の確保に寄与した。

小項目 4 9 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

エ ITの活用による効率的な医療提供の推進
 ITを活用することにより医療の情報化の推進に努めるとともに、症例データの蓄積と迅速な分析を可能とすることによって、医療内容の標準化を図り、効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 医療情報の共有化を進め、集積したデータを分析し、その結果を医療の質の向上や標準化に活用するため、トータルオーダーリングシステムを適切に更新するとともに、電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入する。	エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 ・こども医療センターにおいて、電子カルテシステムを稼働させ、医療情報の総合的管理を推進する。 ・精神医療センター及び循環器呼吸器病センターにおいて、電子カルテシステムの導入に向けた調査を行う。	・こども医療センターで入院部門は平成24年6月から、外来部門は平成24年9月から、電子カルテシステムを中心とした医療情報システムを稼働させた。 ・がんセンターにおいて、平成25年11月の新病院稼動に伴う電子カルテシステムの構築に着手した。 ・足柄上病院、精神医療センター及び循環器呼吸器病センターで、電子カルテシステムの導入に向けた調査・検討を行った。	A	A		
			課題			
			先行して院内の医療情報をネットワーク化したこども医療センター及びがんセンターの情報共有すること等により、各病院で円滑な導入に向けた十分な検討を行う必要がある。			

小項目50 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標
 オ 効率的な事務執行の推進
 効率的な事務執行を推進するため、契約事務の簡素化や多様な契約形態をとるとともに、物品調達を集約化を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
オ 効率的な事務執行の推進 ・契約事務の簡素化、複数年契約の適用範囲の拡大等、多様な契約形態の活用、物品調達の集約化により、効率的な事務執行を推進する。 ・売買、請負等の契約については、情報の公開と競争による選定を基本とし、透明性・公平性を確保する。 ・委託契約については、最低制限価格の適用業務の拡大により、提供される委託業務の質を確保する。	オ 効率的な事務執行の推進 ・医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施する。 ・医薬品等の廉価購入を図るため、他病院等の購入価格を比較できるベンチマークシステムを活用する。 ・各病院で共通して使用する消耗品等の一部の調達について、リバースオークションを試行する。	・医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施するとともに、入札時の予定価格については、ベンチマークシステムの活用等により、他医療機関との比較において適切な価格の設定に留意した。 医薬品値引き率 上期：10.70% 下期：11.67% ・消耗品の調達について、リバースオークション及び共同購入を実施し、スケールメリットを活かした廉価購入を進めた。 リバースオークション実施品目 5品種41規格 共同購入品目 6品種40規格 ・契約関係規程の見直し等により、契約事務を効率化するとともに、インターネットによる物品購入を可能とし、廉価購入の取組を進めた。	実績に対する評価 医薬品及び消耗品等について、概ね一般的な流通価格との比較において、廉価での購入を行った。	A	A	
			課題 物品の共同購入の拡大に向けて、医療機器等対象品目の増加も含めて、各所属間の調整を進める必要がある。			

小項目 5 1 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (2) 経営改善の取組

中期目標

ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																	
<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 ・効率的・効果的な病院運営を行い、より多くの県民に県立病院の医療を提供することにより、医業収益の確保の機会を拡大するため、クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等の取組を実施する。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>5,900人以上</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.0%以上</td> <td>14.5日以下</td> <td>7,200人以上</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%以上</td> <td>(9.3日)</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>130.0日以下</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>80.0日以下</td> <td>330人以上</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.0%以上</td> <td>16.0日以下</td> <td>8,050人以上</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>82.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>4,000人以上</td> </tr> <tr> <td>(結核)</td> <td>70.0%以上</td> <td>(61日)</td> <td>250人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。 なお、こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <p>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>88.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td>(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上	こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上	(施設)	85.0%以上	(9.3日)	300人以上	芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上	せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上	がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上	循環器呼吸器病センター(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上	(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	88.8%	92.1日	280人	芹香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 より多くの県民に県立病院の医療を提供するため、地域の医療機関との連携の強化に取り組み紹介患者などの入院実患者数を確保するとともに、クリティカルパスの適用範囲の拡大、ベッドコントロール等による病床管理の弾力化等の取組により、平均在院日数の短縮及び病床利用率の向上を図る。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値(平成24年度)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>78.0%</td> <td>12.3日</td> <td>6,100人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.8%</td> <td>15.4日</td> <td>6,687人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>84.9%</td> <td>(89.7日)</td> <td>311人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>79.9%</td> <td>126.4日</td> <td>613人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.9%</td> <td>67.0日</td> <td>309人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>77.8%</td> <td>14.4日</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>82.9%</td> <td>13.5日</td> <td>4,000人</td> </tr> <tr> <td>(結核)</td> <td>62.8%</td> <td>(62日)</td> <td>220人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) こども医療センター障害児入所施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設でないため、その目標値は設定しない。</p> <p>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の実績(平成22年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>76.2%</td> <td>12.3日</td> <td>5,968人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>82.6%</td> <td>14.7日</td> <td>6,757人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.2%</td> <td>(69.1日)</td> <td>405人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>74.8%</td> <td>122.6日</td> <td>686人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>65.9%</td> <td>60.1日</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>76.0%</td> <td>14.9日</td> <td>7,753人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター(一般)</td> <td>84.7%</td> <td>13.1日</td> <td>4,211人</td> </tr> <tr> <td>(結核)</td> <td>64.5%</td> <td>(58.6日)</td> <td>241人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	78.0%	12.3日	6,100人	こども医療センター(病院)	85.8%	15.4日	6,687人	(施設)	84.9%	(89.7日)	311人	芹香病院	79.9%	126.4日	613人	せりがや病院	70.9%	67.0日	309人	がんセンター	77.8%	14.4日	8,000人	循環器呼吸器病センター(一般)	82.9%	13.5日	4,000人	(結核)	62.8%	(62日)	220人	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人	こども医療センター(病院)	82.6%	14.7日	6,757人	(施設)	85.2%	(69.1日)	405人	芹香病院	74.8%	122.6日	686人	せりがや病院	65.9%	60.1日	320人	がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人	循環器呼吸器病センター(一般)	84.7%	13.1日	4,211人	(結核)	64.5%	(58.6日)	241人	<p>・病床利用率は、足柄上病院及びがんセンターで目標値を達成した。</p> <p>・平均在院日数は、全ての病院で目標値を達成した。特に、足柄上病院及びがんセンター以外の4病院では、前年度との比較においても大幅に短縮をした。</p> <p>・入院実患者数は、全ての病院で目標値を達成した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>病床利用率は足柄上病院及びがんセンターを除き目標値を下回ったものの、これは平均在院日数の短縮に伴う延べ患者数の減少によるものである。入院実患者数は全ての病院で目標値を大幅に上回っていることから、より多くの県民に医療を提供するとともに医業収益の確保の機会を拡大する、とした計画目標は達成したと評価できる。</p> <p>課題</p> <p>地域医療連携の推進やベッドコントロールのより一層の効率化等により、実患者数の増を図るとともに、患者単価の増による収益の確保に向けて、引き続き取組を進める必要がある。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>・引き続き在院日数を短縮しながら病床利用率を上げることを目指すべきである。</p>
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																			
足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上																																																																																																																																																			
こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上																																																																																																																																																			
(施設)	85.0%以上	(9.3日)	300人以上																																																																																																																																																			
芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上																																																																																																																																																			
せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上																																																																																																																																																			
がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上																																																																																																																																																			
循環器呼吸器病センター(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上																																																																																																																																																			
(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上																																																																																																																																																			
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																			
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																																																																			
こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																																																																			
(施設)	88.8%	92.1日	280人																																																																																																																																																			
芹香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																																																																			
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																																																																			
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																																																																			
循環器呼吸器病センター(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																																																																			
(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																																																																			
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																			
足柄上病院	78.0%	12.3日	6,100人																																																																																																																																																			
こども医療センター(病院)	85.8%	15.4日	6,687人																																																																																																																																																			
(施設)	84.9%	(89.7日)	311人																																																																																																																																																			
芹香病院	79.9%	126.4日	613人																																																																																																																																																			
せりがや病院	70.9%	67.0日	309人																																																																																																																																																			
がんセンター	77.8%	14.4日	8,000人																																																																																																																																																			
循環器呼吸器病センター(一般)	82.9%	13.5日	4,000人																																																																																																																																																			
(結核)	62.8%	(62日)	220人																																																																																																																																																			
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																																																																			
足柄上病院	76.2%	12.3日	5,968人																																																																																																																																																			
こども医療センター(病院)	82.6%	14.7日	6,757人																																																																																																																																																			
(施設)	85.2%	(69.1日)	405人																																																																																																																																																			
芹香病院	74.8%	122.6日	686人																																																																																																																																																			
せりがや病院	65.9%	60.1日	320人																																																																																																																																																			
がんセンター	76.0%	14.9日	7,753人																																																																																																																																																			
循環器呼吸器病センター(一般)	84.7%	13.1日	4,211人																																																																																																																																																			
(結核)	64.5%	(58.6日)	241人																																																																																																																																																			

小項目 5 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・診療報酬の改定に対して迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。</p>	<p>・平成24年度診療報酬の改定に迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。</p>	<p>・診療報酬改定を踏まえた施設基準を迅速に取得するとともに、既存の施設基準についても適確な内容とするよう見直しを行った。</p> <p>・平成24年度新たに取得した主な施設基準は次のとおりである。</p> <p>[足柄上病院] 院内トリアージ実施料</p> <p>[こども医療センター] 児童・思春期精神科入院医療管理料 感染防止対策地域連携加算 人工尿道括約筋植込・置換術</p> <p>[芹香病院] 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 治療抵抗性統合失調治療指導管理料</p> <p>[せりがや病院] ニコチン依存症管理料</p> <p>[がんセンター] 移植後患者指導管理料（造血管細胞移植後） 感染防止対策地域連携加算 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 検体検査管理加算（Ⅱ） 時間内歩行試験</p>	<p>診療報酬の改定を受け、各病院の特性に応じて適確に施設基準を取得するとともに、がんセンターにおいては、入院基本料を7対1に転換する等により、収益を大幅に増加させた。</p>	A	A	
			<p>課題</p> <p>診療報酬の次期改定に向けた情報の収集を適切に行い、早期に対応するための体制整備を着実に行う必要がある。</p>			

小項目 5 3 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント								
<p>・適正な診療報酬を確保するため、患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止に取り組む。</p>	<p>・患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、医事課と相談部門との連携による回収、未収金回収専門員による出張回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。</p>	<p>定期的な督促や出張回収の実施、債権回収会社の活用等により未収金の回収を進めるとともに、患者や家族からの相談に応じ、発生防止にも取り組んだ。</p> <p style="text-align: center;">[年度末個人未収金の状況]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度末</td> <td>287,125,368円</td> </tr> <tr> <td>平成23年度末</td> <td>297,505,367円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△10,379,999円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	合計	平成24年度末	287,125,368円	平成23年度末	297,505,367円	差引	△10,379,999円	<p>各病院の実情に応じて、費用対効果を勘案しながら、様々な方法による未収金の回収を進めたことにより、未収金額を減少させた。</p>	A	A	
			年度	合計										
平成24年度末	287,125,368円													
平成23年度末	297,505,367円													
差引	△10,379,999円													
			<p style="text-align: center;">課題</p> <p>未収金の発生防止及び効率的かつ効果的な回収に引き続き取り組み、未収金額のさらなる減少に努める。</p>											

小項目54 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																
			自己点数	評価点数	コメント																																																
<p>イ 費用の削減</p> <p>・医薬品に係る経費の節減とともに、患者の経済的負担の軽減にも資するため、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>イ 費用の削減</p> <p>・後発医薬品情報の収集に医薬品管理システムを活用するとともに、後発医薬品の利用状況把握と有効な代替方策を検討して、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p>・購入価格の決定については、他病院等の購入価格を比較できるベンチマークシステムを活用し、可能な限り廉価で購入する。</p> <p>・各病院で共通して使用する消耗品等の一部の調達について、リバースオークションを試行する。</p> <p>〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度実績	後発医薬品の品目採用率	12.2%	後発医薬品の金額採用率	5.6%	<p>・一般の病院では実施が困難な高度専門医療を中心に実施していることから、後発医薬品の適用範囲が限られる中、安全性に十分配慮しつつ、各病院の薬事検討会議等において使用拡大に取り組み、品目ベースで採用率が増加させた。</p> <p>・医薬品・検査試薬・診療材料に係る共同あっせん調達において、ベンチマークシステムの活用等により、適切な価格の設定に留意した。 医薬品値引き率 上期：10.70% 下期：11.67%</p> <p>・消耗品の調達について、リバースオークション及び共同購入を実施し、スケールメリットによる廉価での購入に取り組んだ。 リバースオークション実施品目 5品種41規格 共同購入品目 6品種40規格</p> <p>・契約関係規程の見直し等により、インターネットによる物品購入を可能とし、廉価購入の取組を進めた。</p> <p>〔後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目</td> <td>12.8%</td> <td>13.4%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>5.7%</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度実績 〔病院別の後発医薬品の採用率の内訳〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>品目数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12.3%</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6.0%</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>12.6%</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>13.7%</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>11.5%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>13.2%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13.4%</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	品目	12.8%	13.4%	金額	5.7%	5.1%	病院名	品目数	金額	足柄上病院	12.3%	10.3%	こども医療センター	6.0%	2.4%	芹香病院	12.6%	6.4%	せりがや病院	13.7%	6.1%	がんセンター	11.5%	5.7%	循環器呼吸器病センター	13.2%	5.5%	合計	13.4%	5.1%	<p>実績に対する評価</p> <p>・後発医薬品の導入率は、品目ベースで目標値を達成した。</p> <p>・材料費については、縮減に向けた取組を進めた結果、前年度対比で診療報酬改定における薬価・材料費の改定率を上回る費用を縮減した。</p> <p>・消耗品についても、共同購入品目の拡大や、関係規程の見直し等により廉価購入を推進した。</p> <p>課題</p> <p>後発医薬品の導入拡大や共同購入に係る品目数の増を進めることにより、さらなる費用の削減を進める必要がある。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																			
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																			
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																			
区分	平成22年度実績																																																				
後発医薬品の品目採用率	12.2%																																																				
後発医薬品の金額採用率	5.6%																																																				
区分	平成23年度	平成24年度																																																			
品目	12.8%	13.4%																																																			
金額	5.7%	5.1%																																																			
病院名	品目数	金額																																																			
足柄上病院	12.3%	10.3%																																																			
こども医療センター	6.0%	2.4%																																																			
芹香病院	12.6%	6.4%																																																			
せりがや病院	13.7%	6.1%																																																			
がんセンター	11.5%	5.7%																																																			
循環器呼吸器病センター	13.2%	5.5%																																																			
合計	13.4%	5.1%																																																			

小項目 5 4 - 2 業務実績及び評価

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・定型的な事務や院内保育業務等の業務の委託化を拡大し、経費の節減を図る。</p>	<p>・財務会計システムにより、最新の執行状況を把握し、効率的かつ計画的な執行を行い費用の削減を図る。</p> <p>・物流管理の見直しなど、物品の適正な在庫管理に努めることにより、費用の削減を図る。</p>	<p>・財務会計システムを活用した月次決算の実施により、本部事務局において各病院の収支執行状況を一元把握するなど、費用の適正執行のための管理体制を構築した。</p> <p>・「棚卸マニュアル」を作成し、医薬品等の在庫管理方法を共通化し、滞留在庫の発生防止に取り組んだ。</p> <p>・足柄上病院における調理業務の委託化並びに循環器呼吸器病センターにおける物流管理システムの導入及び中央材料室滅菌業務の委託化のための検討及び調整を行った。</p> <p>・債権者への支払手数料を削減するため、債権者コードの一本化を図ったほか、県立病院機構のメインバンクと同一金融機関への振込を徹底した。</p> <p>[足柄上病院] ・電気料金の年間契約にあたり、基本契約電力量の見直しを行い、光熱水費の節減(723千円)を図った。 ・委託事業について、契約期間を1年から複数年に見直すことにより、年間あたりの経費を削減(900千円)した。</p> <p>[こども医療センター] ・電気料金の年間契約にあたり、基本契約の内容の見直しを図ったこと及び太陽光発電設備を設置したことで、光熱水費(8,505千円+1,300千円)の節減を図った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>月次決算の実施や、物流管理体制の見直し・強化の他、事務執行に係る細部の支払いについてもきめ細かく見直しを行うことにより、費用の増加を抑制した。</p>	A	A	<p>・光熱水費の経費削減については、節減額の記載は前進だが、今後の目標のあり方を含め検討していただきたい。</p>

		<p>[こども医療センター続き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員宿舎として一棟借り上げていたアパートについて、医師宿舎や医療従事者宿舎の整備状況を踏まえ、賃借契約を打ち切り、賃借料(4,003千円)の節減を図った。 <p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内の各所管繕工事において、管理委託業者へ必要な消耗品を支給し、修繕することにより、専門業者への発注件数を削減し、経費削減を図った。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度光熱水費のうち電気料については、東京電力の値上げ(従量料金約36.5~39%)に対して、基本契約の見直し等により、平成23年度比で約23%(金額約3千万円)の増加に押さえた。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した誘導灯の交換にあたっては、電気使用量の削減を図る観点から、LED灯を採用した。 	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1357 140 1675 172">課題</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1357 172 1675 1050"> <p>事業の実施や事務の執行にあたっては、常に業務の効率化や費用の削減を念頭に、合理的に効果を発揮するよう、引き続き取り組む必要がある。</p> </td> </tr> </table>	課題	<p>事業の実施や事務の執行にあたっては、常に業務の効率化や費用の削減を念頭に、合理的に効果を発揮するよう、引き続き取り組む必要がある。</p>			
課題								
<p>事業の実施や事務の執行にあたっては、常に業務の効率化や費用の削減を念頭に、合理的に効果を発揮するよう、引き続き取り組む必要がある。</p>								

小項目55 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標

県立病院の医療機能を充実し、県民負担の軽減に努めながら、新たな課題に対応できる経営基盤を確保するため、健全な病院経営を行い、県立病院機構全体の財務内容の改善を図ること。
 経営目標
 業務運営の改善及び効率化を進め、より一層の経営改善に取り組むことにより、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。
 また、医業収支比率を133%以下とするよう努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、中期目標期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下とする。また、医業収支比率を133%以下とする。</p> <p>1 予算（22年度～26年度） 省略</p> <p>2 収支計画（22年度～26年度） 省略</p>	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（24年度） 2 収支計画（24年度）</p> <p>(1) 県立病院機構全体 経常収支比率 101.4% 医業収益に対する給与費の比率 69.4% 医業収支比率 126.4%</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 98.6% 医業収益に対する給与費の比率 77.9% 医業収支比率 130.1%</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 103.9% 医業収益に対する給与費の比率 69.9% 医業収支比率 124.9%</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 98.9% 医業収益に対する給与費の比率 134.5% 医業収支比率 182.9%</p>	<p>・別冊「平成24年度 業務実績報告書」の「II 3 病院ごとの取組状況」を参照</p> <p>・県立病院機構全体の経常収支比率は102.1%となった。 なお、医業収益に対する給与費の比率は69.2%、医業収支比率は125.4%となった。</p> <p>[決算状況] (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 102.1% 医業収益に対する給与費の比率 69.2% 医業収支比率 125.4% 総損益 821百万円</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 98.4% 医業収益に対する給与費の比率 76.1% 医業収支比率 129.4% 総損益 △107百万円</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 101.7% 医業収益に対する給与費の比率 72.4% 医業収支比率 128.7% 総損益 214百万円</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 97.2% 医業収益に対する給与費の比率 139.3% 医業収支比率 193.7% 総損益 △131百万円</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>収益確のための種々の取組や経費の抑制等により、全体では経常収支比率、給与費比率及び医業収支比率とも目標を達成した。</p>	A	A	<p>・個別病院ごとの評価も検討していただきたい。</p>

<p>3 資金計画（22年度～26年度） 省略</p>	<p>(5)せりがや病院 経常収支比率 95.2% 医業収益に対する給与費の比率 132.4% 医業収支比率 181.7%</p> <p>(6)がんセンター 経常収支比率 103.0% 医業収益に対する給与費の比率 54.5% 医業収支比率 115.1%</p> <p>(7)循環器呼吸器病センター 経常収支比率 107.4% 医業収益に対する給与費の比率 52.3% 医業収支比率 113.0%</p> <p>3 資金計画 省略</p>	<p>(5)せりがや病院 経常収支比率 99.3% 医業収益に対する給与費の比率 125.9% 医業収支比率 180.7% 総損益 △5百万円</p> <p>(6)がんセンター 経常収支比率 107.9% 医業収益に対する給与費の比率 52.2% 医業収支比率 109.1% 総損益 942百万円</p> <p>(7)循環器呼吸器病センター 経常収支比率 103.3% 医業収益に対する給与費の比率 55.1% 医業収支比率 119.4% 総損益 195百万円</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>全体では目標値を達成したものの、個別には経営成績に差があることから、今後も着実に収益を確保するとともに、業務運営の効率化を進め、所属別にも目標値を達成する必要がある。</p>			
---------------------------------	---	--	---	--	--	--

小項目56 業務実績及び評価

<評価の大項目>

第7 その他業務運営に関する重要事項
人事に関する事項

中期目標

- (1) 適切な職員配置
経営効率の高い業務執行体制を構築するため、定型的な業務について委託を進めること等により、適切な職員配置に努めること。
また、医療ニーズの変化に適切に対応した看護師等、医療従事者の迅速・柔軟な採用・配置を行い、新たな政策課題に対しては、必要な医療従事者を適切に配置すること。
- (2) 的確な人事管理
職員の実績等を的確に反映した人事管理を行うため、より病院にふさわしい人事評価の仕組みを確立すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置</p> <p>・事務部門については、専門性を高めるとともに、経営企画機能の強化を図る。また、定型的な業務については委託化を進める。</p> <p>・医療従事者については、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応し、効果的な人員配置を行うため、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p> <p>・がんセンター総合整備をはじめとした新たな政策課題を実現するため、必要な医療従事者を適切に配置する。</p>	<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置</p> <p>・事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を図る。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療施設について、平成27年中の治療開始に向けた計画的な人員配置を行う。</p> <p>・精神医療センターの総合整備に向けて、必要な人員配置を行う。</p> <p>・子ども医療センターは、臨床研究所で一定期間継続する高度な研究プロジェクトのために、当該期間に限定し、研究者として質の高い資質を持つ人材を任期付研究員として採用する。</p>	<p>・事務職員については、中長期的に安定的かつ計画的な病院運営を行い、県立病院の役割を果たすため、県立病院における業務に精通した県の事務職員の割愛採用制度を導入し、平成25年4月1日付けで5人を採用した。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行った。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実や精神医療センターの医療観察法病棟の開設など医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行なうために、平成24年度中に正規職員331人（医師70人、看護師199人、コメディカル職種34人、事務等28人）を採用した。</p> <p>・子ども医療センターでは、4月からゲノム解析研究部門に2名、病態機能解析研究部門に1名の研究員を配置し、国内最多のマイクロアレイ染色体検査を実施したほか、次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析研究、再生医療研究など様々な研究を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>患者動向や医療環境の変化等に柔軟かつ効果的に対応できるよう、業務の実態を踏まえ、経験者区分での採用試験の実施、県立病院業務に精通した県職員の割愛採用などを行い、引き続き適正な職員配置に努めた。</p>	A	A	

<p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについて、検討する。</p>	<p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務実態を踏まえた評価項目、評価要素を活用することにより、職員の職務遂行を通じて発揮された臨床能力や組織運営力を的確に把握し、職員がよりステップアップした能力開発や活用に繋げていくための仕組みとして、病院に相応しい人事評価システムを構築し、平成24年度から実施する。</p>	<p>・職員がよりステップアップした能力開発を行えるよう、医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた評価項目・要素を設定し、職員の臨床能力や職務運営能力を的確に把握するとともに、昇任昇格や昇給、勤勉手当への反映など人事上の処遇への活用を図るための新たな人事評価制度を構築し、平成24年度から全ての職種について実施した。</p>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1355 140 1675 172">課題</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1355 172 1675 512"> <p>平成24年度から実施した新たな人事評価制度について、職員の能力開発や活用に繋がるものとなるよう適切な運用を図るとともに、必要に応じて内容の見直しをしていく。</p> </td> </tr> </table>	課題	<p>平成24年度から実施した新たな人事評価制度について、職員の能力開発や活用に繋がるものとなるよう適切な運用を図るとともに、必要に応じて内容の見直しをしていく。</p>			
課題								
<p>平成24年度から実施した新たな人事評価制度について、職員の能力開発や活用に繋がるものとなるよう適切な運用を図るとともに、必要に応じて内容の見直しをしていく。</p>								